

〔解〕  
1 世界の糖業について記せ。

文獻 佐藤 弘著

經濟地理學概論

三三七頁

〔解〕 (一) 砂糖生産地—(1) 甘蔗糖は熱帯及亞熱帯の多雨地から産出し、世界全體の甘蔗糖生産高は一六〇〇萬噸で、その1.4はキューバから、又1.5は印度から、而して一五%はジャバその他の東印度諸島から、その他ハワイ、臺灣などが主要産地である。(2) 甜菜糖は冷温帯のヨーロッパが世界全産額九〇〇萬噸の九割を占め、内でもドイツとチエツコスロバキアは各二割弱を産出してゐる。

(3) 兩者の競争—甘蔗糖はインドを原産地として熱帯の各地に移植され、既に數千年の歴史を有するが、甜菜糖は一七四七年マルブグラーフによつて甜菜根から採取されたのが始めてその歴史は新らしい。而して兩者の生産高は甘蔗糖が六に對して甜菜糖が四の割合であつたが、十九世紀の末葉から二十世紀の初期までは甜菜糖の生産高が勝れてゐたが、甘蔗糖の覺醒があり、一九〇四年から十年間は兩者の生産高が伯仲し、大戰起るに及び甜菜糖の産地ドイツは戰亂の巷となつて生産額が減少し、甘蔗糖は爾後その追從を許さぬまでに生産能率を高めた。

(4) 砂糖輸出國—かくの如く生産地はキューバ、印度、ジャバ、ドイツ、チエツコ、ポ

ーランド等であるが、この地は何れも人口稠密で多量の砂糖を消費する地方でもあるから、生産國必ずしも輸出國とならない。そのよい例は印度である。印度は三二〇萬噸の生産國であるにも係らず尙ジャバ方面から七〇萬噸以上の輸入を仰ひてゐる。砂糖の輸出はキューバとジャバ、チエツコ、ポーランド、ドイツがその輸出國となつてゐる。

(5) 消費地—然らばその消費地はどこであるか。砂糖の消費量はその國民によつて大なる差異がある。例へば地中海岸諸國民は南歐獨特の果實があるため(これに糖分多し)一般に消費量は僅少であり、従つて輸入量も少ない。これに反して北歐の諸國は英吉利をはじめノールウェー、スウェーデン、デンマルク等が多量消費國となつてゐる。又新大陸ではアメリカ合衆國が無限の消費地である。これにはキューバの大生産地が控へてゐる。又東洋の消費地は日本と支那であり、これは南洋の生産地が存在する。

(6) 日本の砂糖—我が國では消費量は年九〇萬噸で、内地で一〇萬噸生産されるからその他は粗糖又は精糖を臺灣或はジャバより輸入してゐる。輸移入量は八〇萬噸で輸入と移入とは各々1.2である。

2 本邦に於て消費せらるゝ石油の産地と其の供給の狀況につきて詳述せよ。

〔解〕 (一) 消費高—我が國に於ける石油の消費高は年約三〇〇萬石である。而してこの數量は時代の推移と共に増加の傾向がある。



(二)本邦生産高—次に本邦に於て生産される量はどの位であるかと云ふと全消費高の1/2である。その主産地即ち油田は、新潟から山形、秋田、青森、渡島半島、樺太西方海岸と一直線をなす第三紀層中に存在し、内でも新潟縣は日本全體の生産高一五〇萬石中の九〇萬石即ち3/5を生産してゐる。次は秋田縣の豊川、黒川、道川油田等で合計五〇萬石に達してゐる。秋田油田と新潟油田でその大部分を供給してゐるわけである。近時臺灣から多量に産出され始めた事は注目に値する。

(三)外國輸入高—外國からは全消費高の1/2を輸入してゐる。この内米國から最も多く輸入し、全輸入高の1/2を占め、次は蘭領印度である。この二地方が我が國石油需要の二大地域である。アメリカではカリフォルニア油田がこれに當り、蘭領印度ではポルネオ、スマトラの石油である。次に最近産出しはじめた北樺太のオハ地方産出石油の利権を一部得た事である。即ち利権の一部とは北樺太東岸の油田に於て日本人が發掘した油田の五割を日本へ提供し、産出された石油の五—一五%をソヴェエツトロシアに提供する事である。現在北樺太の埋藏量は約五〇〇〇萬石と云はれ、年々約六〇萬石位の採油量はある見込みである。もし之が實現すれば外國輸入の量は減少し、我が國石油界に一大光明を得られる事となる。次に今一つ有望視されてゐるものがある。それは撫順炭田に於ける石油頁岩(オイルシエール)採取事業である。これが完成すれば年々二〇萬石

内外を我が國で得られる事となると云ふ。

文獻 佐藤 弘

經濟地理學概論

地理教育

第十一卷四號

拙著

概觀世界地誌 下卷

### 3 横濱バンクーバー間の汽船の航路につきて説述せよ。

注意—これは交通地理に屬する問題で、カナダ及日本の交易を論じ更にアジアと北米との交易路としても考察すべきである。

〔解〕 (1)通路—横濱バンクーバー間は太平洋航路の最重要なるものゝ一つであつて北米に渡る最捷路でもあり、今は旬日にして達する事を得る。房總半島を迂廻して北方に進路をとり、金華山沖を通過して北東に進路を變へアリューシャン列島の南方海溝に沿つて進み、更に南東に進むことが大圏航路に近く、兩港を結ぶ最短距離に近いのである。たゞこの航路に於て、夏季は金華山沖、冬季は北海道近海にガスが発生して航行に危険を伴ふのである。これは黒潮(暖流)と親潮(寒流)との衝突する地點にあたるからである。

(2)交通—バンクーバーはカナダの西門即ち裏玄關に當るのであり、そこから Canadian Pacific Railway によつてカナダ東方文化地に向ふのであるからカナダと東洋との交易は



バンクーバーが一手に引受けてゐるのである。換言すればカナダと日本との交易はバンクーバーによつてなされる。バンクーバーはフレザー河流域の平野を後背地として有しロッキーマウンテンの鑛物と森林を背景に有してゐる關係上この種の物資を我に供給する立場にもある。従つてかゝる立場から考へる時バンクーバーの地理的位置は最も明瞭である。現今我が國とカナダとの貿易は日本からカナダに向ふものは三〇〇〇萬圓、カナダから日本へ來るものは七〇〇〇萬圓で我が國から見れば輸入超過四〇〇〇萬圓といふ不利な立場にあるが、その物資をしらべて見ると日本からは茶、絹織物、生絲、米、陶器、磁器等を送り、カナダから中央平原の小麥と麥粉、太平洋岸の木材を我に供給するのである。而してバンクーバーがカナダ第二の港市としてカナダに君臨してゐるのはこの地理的位置が然らしめるのである。即ちバンクーバーの貿易額は全カナダ輸入貿易の七%に當り一・五億圓の輸入と、全カナダ輸出貿易の一割を占め、二・五億圓の輸出額を示してゐるのでモントリオール港（貿易額八億圓）の次に位してゐるのである。この内輸出二・五億圓の1/3と輸入の1/5は横濱との間に行はれる貿易である。

(3) **世界交通からの見地**—次に横濱バンクーバー間の航路は獨り日本とカナダの間の交易路である許りでなく世界交易路の第一幹線となつてゐる事である。此の意味に於てたとへ横濱バンクーバー間の交通量が今僅少であるにしても將來の重要性を多分に有する

事は事實である。未だ幼稚なステージにある太平洋航路が、特に北偏するバンクーバー航路が交通量の少ないことは無理からぬ事であるが世界一周の通路は常に最捷路としてこの線が選ばれるのである。横濱—バンクーバー—カナダ太平洋鐵道（バンクーバー—セントジョン）—ロンドン—パリ—ベルリン—シベリア鐵道—敦賀—東海道線といふ通路が世界交通の最捷路である。

(4) **主なる汽船會社**—この横濱バンクーバー間の航路に従事する汽船會社は日本郵船と大阪商船の二つとアドミラル會社（The Admiral）（アメリカのもの）とカナダの太平洋汽船會社（Canadian Pacific Steamship Co.）の四會社線で優秀なる客船と貨物船とを使用してゐる。

(5) **他の太平洋航路との對比**—太平洋の航路は次の數種である。即ち（一）日本とカナダを結ぶもの、（二）日本とアメリカ西岸を結ぶもの、（三）日本とオーストラリアを結ぶもの、（四）オーストラリアと北米東岸を結ぶもの、（五）オーストラリアと西歐を結ぶもの（パナマ運河通過）、（六）カナダから斜に南西走してオーストラリアを結ぶものの六線が重なるものである。（一）の全部と（二）の一部を實現するものが即ち横濱バンクーバー航路である。太平洋航路は多く西岸の原料地から東部の文化地へ結ばれてゐるのであるが、獨りこの航路はカナダの原料供給地と、日本の文化地とを結ぶ通路である。



## 4 商業國としての日、英、米三國を比較せよ。

〔解〕 (一) 日本—現在商業に従事してゐる國人は全人口の一割強(一二%)に當り、その商船は四二〇萬噸の汽船と二六萬噸の帆船とを有し、この商船數量は何れも世界第三位である。而して日本の貿易額は年々四二億圓内外を示し、輸入は二億圓内外の超過状態である。その取引國について見ると輸出は米國の九億圓を筆頭として支那へ三・五億圓、印度へ一億圓、關東洲へ一億圓、蘭領印度へ〇・九億圓等が多額を示し、輸出品は生絲の八億圓、綿織物の四億圓、絹織物の一・五億圓、陶磁器(〇・四億圓)等が首位を占めてゐる。

又輸入を見ると北米合衆國から六・五億圓、印度から三億、支那から二億圓等が主であり、その輸入品は綿花の六億圓、機械の一・二億圓、羊毛(濠洲から)の一億圓、鐵の一億圓、木材の一億圓が主である。

かゝる貿易状態を通して我が國の商業を覗へば、その最も特長とする所は養蠶業によつて得られる生絲、絹織物の輸出一〇億圓と、綿花を輸入して綿織物としこれを再輸出する事である。この生絲、絹織物の類は文化國に對しての商品であり、綿織物は南洋、支那等のアジアの非文化地帯へ販路を需めてゐるのである。生絲、絹織物に對しては英米の追従を許さないものであるから、この競争者は勿論出現しないのであるが、第一に經

濟争闘を行はねばならぬのは綿織物の販路としての南洋、印度、支那が同じく、英、米の販路の焦點である事である。而して綿花の産地は日本領土内には殆んどなく、米國が斷然一位を占めてゐる事を思ひ、且又その原料の四割は米國に仰ぎ、六割は英領印度から仰がねばならぬ日本の綿織物商業の未來には甚しき寂寞を感じるものである。

(二) 英吉利—英吉利は全人口の二一%の商業者を有し、その對外貿易は一九二億圓に達し、我が國貿易額の五倍に當つてゐるのである。而して英吉利貿易の特長は商船の噸數が多い事と大輸入超過國であるといふ事である。イギリスの商船は一萬隻二二五〇萬噸で世界汽船の四割を占めてゐる。又その輸入は一二〇億圓で、四八億圓内外の入超を示してゐる。この入超は大量の汽船が世界の各大洋に雄飛活躍してゐる事によつて、或は世界各植民地へ投資經營の利益によつて償つてゐるのである。輸出品は島帝國で純工業國である關係から原料品及食料品であり、輸出品は織物の四割、鐵製品機械類の四割がその大部分を占めてゐる。主なる取引國は米國で、綿花を米國より購入し、機械類を輸出する。次は印度で小麦を購入し綿織物を輸出する。綿織物は日本から印度へ向ふものと競ふ事になる。又機械類は南米地方に於て米國品と競争してゐる。

(三) アメリカ合衆國—アメリカ合衆國では全人口の一割が商業者で、外國貿易は輸出九八億圓、輸入八三億圓で十五億圓の大出超國である。英、日、兩國の輸入超過と比較



して大なる差異がある。その輸出品は必ずしも精製品のみではなく原料品、食料品もその13を占めて居る状態である。輸入は西印度のキューバをはじめ日本ブラジル等で、熱帯生産物及生絲であり、輸出は綿織物、石油、機械、穀物、自動車、鐵及其の製品、肉類、石炭等で、英吉利へ綿花、穀物等を輸出するのがその二割を占め、カナダへ精製品を出すのが第二であり、熱帯新大陸への精製品が第三位である。

米國の商船は汽船も英國に次いで多く一三六〇萬噸に達してゐるが、更に一の特長は世界帆船の12(九〇萬噸)を占めてゐる事である。

(四)三國の比較—上述の如く日本の商業は原料を輸入して綿織物を輸出する事であり、英國は同じく原料食料を輸入して織物、鐵製品を輸出する事である。又米國は輸入は僅少で主として織物、鐵製品及各種の原料を輸出する事である。こゝで三國共通のものは綿織物の輸出先きの問題であり、これは南洋、南米、支那等の共通の販路をねらつてゐるためこゝに經濟争闘を餘儀なくされるのである。而して英、米兩國の活躍舞臺は大西洋であるが、三國の舞臺は太平洋である。米國はこの綿織物に對しては原料生産國でもあるために優先權を有し、英國は羊毛の生産地オーストラリアを有してこれ亦優先權をもつてゐるが、日本は此の綿、羊毛の原料を有してゐない事は一の缺點であるが、生絲の生産力が卓越してゐる。

次に日本では貧鐵國であるが米國はこれを輸出し、その上石油の大生産地であるから此の點でも英日より勝れてゐる。要するに原料生産地工業地としての米國が將來より有望視され、英國は自國の植民地の經營によつて此の米國と競はんとしてゐる。日本はこれに對して僅少なる植民地の利用拓植に腐心してゐるのである。

又三國の地理的位置が英は大西洋、日は太平洋、米はその兩者の間に介在してこれ亦米國の優越權に對して日英の不利を知る事である。

文獻 拙著 概観世界地誌 上卷下卷。

##### 5 經濟地理に於ける經濟形態を説明せよ。

注意—文獻 佐藤弘著 經濟地理學概論 一六三—一八四頁

約言すれば人類の文化の進展の状態によつて經濟階梯が進歩し、これによつて土地の經濟形態が種々推移するのである。即ち原始民族は反射的經濟の時代(動物的經濟)であり、この時の經濟形態は原始收得經濟である。又一步進んでも高度收得經濟の形態を現はすに過ぎない。次に自然民族になれば本能的經濟の階梯となり、この時代には漁業と遊牧と木鋤耕又は木棒耕の低級ハツク耕の形態を現はすのである。更に進んで半文化民族となれば傳統的經濟の階梯に到達し、放畜、農耕、高度ハツク耕の經濟形態を有する様になる。次には文化民族の大農耕、大放畜が行はれ、工業經濟に達し、遂には世界經



濟にまで到達するのである。以上の原始收得經濟から世界經濟までの形態を簡単に説明し地球上に於ける分布を概説すればよい。

數量的記載について 經濟地理のみでなくすべての試験問題について必要のことであるが、實際地理の答案へ記入しなければならぬ數量はどの程度であらうか。さう多くの事項について正確な數量を暗記する事は出来るものでないから、これを要求するのも無理なことである。例へば山の高度(米)、河川の長さ(浬)、氣温(度)、雨量(耗)、産物の産額(億圓、萬噸)、貿易額(億圓)、都市の人口(萬人)、國の面積(萬方浬)、といった具合の數量である。然しこれを要求するのが無理であるといつて何にも知らないといふのも無責任なことでもある。勿論概數でよいのであり、又他の地方とを比較的に覺える事でもよし、世界全體又は日本全體の何割、何%、何分の幾つと云つたやうな覺え方をする事は事實必要である。それ許りではなく時には稍々精細にこの數量を知らなければならぬ事もある。それは基本となるべき數字である。この基本となるべき數字は他を類推する土臺であるから覺えなければならぬ。覺えるのも無理に暗記するのではなく、何邊も勉強してゐる間に自然と頭の中に残つてゐるやうになる事が喜ばしいのである。一例を挙げれば日本の石炭産額は三五〇〇萬噸、世界全産は一三億噸、アメリカはその $\frac{1}{2}$ といふやうに。又日本の石油需要高は三〇〇萬石、その $\frac{1}{2}$ は本邦産、世界の人

口一八億、イギリスは四六〇〇萬人、日本はその倍、支那の面積は一一一萬方浬、日本は六七萬方浬、その半分がフィリッピン、英吉利は二五萬方浬、フランスが五五萬方浬、日本の貿易は年々約四二億圓、羊の頭數は濠洲が一億頭、アルジェンチンがその $\frac{1}{3}$ 、綿はアメリカが二八〇萬噸で世界の六割、富士山の高さは三七六八米、モンブランはヨーロッパ第一の高峯で四八一〇米、アルプスの高さは約三五〇〇米、ヒマラヤは八〇〇〇米以上の高峯四〇、といふ具合に常に數量に注意してゐれば自然と覺えるともなしに頭の中に這入つてしまふのである。答案では此の程度の數量を欲してゐるのである。此の如きも地理的訓練の一である。

#### 第四節 政治地理の問題

##### 問題

- 1 國境として河川の價値を論ぜよ(昭二、四七回、本)
- 2 緩衝國の意義を説明し且つ其の効果を實例を擧げて論述せよ(昭三、四九回、豫)
- 3 現代諸強國の政治地理的位置を比較論評せよ(昭四、五一、本)
- 4 ヨーロッパ地中海の勢力關係を詳述せよ(昭四、五一、本)
- 5 滿洲問題に對して我國と列強との關係を地理的に論述せよ(昭四、五一、本)
- 6 政治地理上より首府を論述せよ(昭五、五三、豫)



7ソヴェート聯邦の自然景域を説述し、併せてそれが同國の統一性に及ぼす影響を論述せよ(昭五、五三、豫)

### 1 國境として河川の價值を論ぜよ。

〔解〕 現今河川を以て國境としてゐる國は數多い。例へば黒龍江を境とするロシアと支那、メコン河で境するシヤムと佛領印度支那、ドニエートル河で境するロシアとルーマニア、ラインで境するドイツとフランスとスイス、ドナウ河で境するルーマニア、ユーゴスラビア、ブルガリア、マリツア河で境するギリシャとトルコ、更に新大陸ではセントローレンスの一部がカナダとアメリカ合衆國の境界となり、リオグランデデルノルテが合衆國とメキシコを分ち、ラプラタ河の本支流がブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、アルジェンチンを分割してゐる如きはそれである。

此の如く河川は屢々國境として利用されてゐるが、河川の有する政治的特性は必ずしも兩國の文化を切斷分離するものではない。此のことは長い歴史が證明してゐる。一般に太古に於て交通機關の進歩せざる時代にあつては河川の有した分離力は大きなものがあつたのである。例へばローマ帝國とゲルマン民族との分界としてライン河は過去に於てその威力を發揮した。即ち之を渡渉する事が當時は大なる困難であつたからである。昔時のみではなく現時に於ても歐洲大戰當時は河川が自然の塹壕であつた事は認定する

事が出来るのである。然し乍ら現在の文化の進歩状態は河川が一つの大きな交通動脈となり、上流と下流、左岸と右岸とを結合せしめる能力は偉大なものである。此の意味の河川は中立地帯として濃厚さを加へ、ラインの如きは本質的に國際河川 International River となるべき性質を具備してゐる。かくの如く現時に於ける大河、緩流は分離する力よりも結合する力の方が大であるから、河川が國境としての價値は漸次減少せざるを得ないのである。急湍瀑布の存在は又下流と上流とを遮斷する性質を有し、エジプトの南境はナイル湖航終點たる第一瀑布を常とした如くであるが、かゝる場合に於ても交通機關、交通設備が増す場合には河川を國境として價値を遞減せしめつゝあるわけである。

次に河川が國境となる場合、該河川のどの部分が國境線となるべきか。これは該河川の最深部(タールウエヒ Talweg)が選定されるべきが普通である。これはフランスとドイツの國境決定に關するオクトロア條約が一八〇四年八月五日に開かれ、この時タールウエヒが採用されたのである。かくして現時に於ては多くの河川の境界線はタールウエヒを使用してゐる。たゞ例外として左岸又は右岸を以て之を定めてゐる。例へばオレンジ河の右岸が舊獨領と英領南阿の境界であつたり、トーゴと黄金海岸との境界であるポルタ河の中流はすべて英領に屬してゐたりするのはそれである。

更に一言すべきは國境附近に何等自然の防禦物、或は國境目標のなき場合は河が唯一



の國境として相應しい事は勿論である。

文獻 飯本 信之著

政治地理學

二〇四

## 2 緩衝國の意義を説明し、且つ其の効果を實例を擧げて論述せよ。

〔解〕 (一) 緩衝國の意義——緩はゆるやか、衝は衝突、衝突を避ける國 Bufferstates である。二つ又はそれ以上の強國が直接國を接してゐる場合は二國の衝突は頻繁である。これがためそれ等の國々がその間に小弱國の存在を認められた場合、この小弱國を緩衝國といふ。又この地域が數國家に亘つたりする場合は衝緩地帯と呼ぶのである。

(二) 實例——これは古代に於ても既に存在した例がある。最も有名なものはメソポタミヤとエジプトの間に存在したユダヤ人の國家である。又西アジアに分立するアルメニア、シリア、パレスチナは昔時強大なりしペルシア前アジアとローマ帝國との緩衝地帯であつた。

現今に於て緩衝國として目されるものゝ内有名なるものは左の數ヶ國である。

(1) ペルシヤとアフガニアタン(英、露兩國の)

(2) シヤム(英、佛の)

(3) エストニア、ラトヴィア、リツアニア、ポーランド(獨、露の)

(4) ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ、スイス(獨、佛、英、伊の)

(5) アルバニア(伊、ユ、ギリシヤの)

(6) ウルグアイ(ブ、アの)

(三) 效果の程度——緩衝國を夾む兩國の利益が一致する限りに於て有效であるが、一度利害相反すれば何等の役にも立たない。例へば今回の歐洲大戰に於てもドイツは永世中立國であつたベルギーを侵してフランスに突入し、ロシアはそれ以前英、露、土の緩衝國であつたルーマニア、ブルガリアを通過してトルコに入らんとしたのである。

文獻 前掲 一五六頁

## 3 現代諸強國の政治地理的位置を比較論評せよ。

〔解〕 (一) 政治地理的位置の意義——一國家が地形的に恵まれてゐるかどうか。一國家が氣候的に恵まれてゐるかどうか。一國家が他國家との相對的關係に恵まれてゐるかどうか。以上の三點の觀察をなす事が政治地理的位置である。一は地理的位置と稱し、二は氣候的位置と稱し、三は政治的位置と稱し、一國家を單元とするから三者を合して政治地理的位置といふのである。

(二) 地理的位置は自然の地形一般を考究する——即ち國家とその國家が有する地形との關係である。地形は山、河、平野、海岸である。山にすべて圍繞されてゐる事は弧立的であるが、文化的に具合がよくない。内陸水路の大なるものを有すれば國家としてはよい。ドイツのライン河、北米のミシシッピの如きである。又平野のみであれば統一的



になる。

(三) 氣候的位置——現今強國の存在する冷温帯地方は最もよい。英、米、佛、獨、日、等はこれである。

(四) 政治的位置——兩面に強國を有するドイツの多きは多忙であり、四面海をめぐる日本の如きは孤立的である。

注意——以上三問題について簡単に答案に認むべき程度の解説をなしたのであるが、かゝる政治地理の問題はすべて飯本信之著政治地理學を精讀し、これを應用する事によつて充分である。勿論こゝには圖を掲げなかつたのであるが、實際の答案には一問數葉の略圖をかゝけて説明する事が必要である。

5 滿洲問題に對して我國と列強との關係を地理的に論述せよ。

注意——此の問題は地理的に説明すれば極めて簡単な記載に止まるであらうが、かゝる問題を取扱つてゐる参考書がないために根本的に解説し、種々の問題に觸れる事とするが、左に掲げたすべてを答案に書かなくともよい。

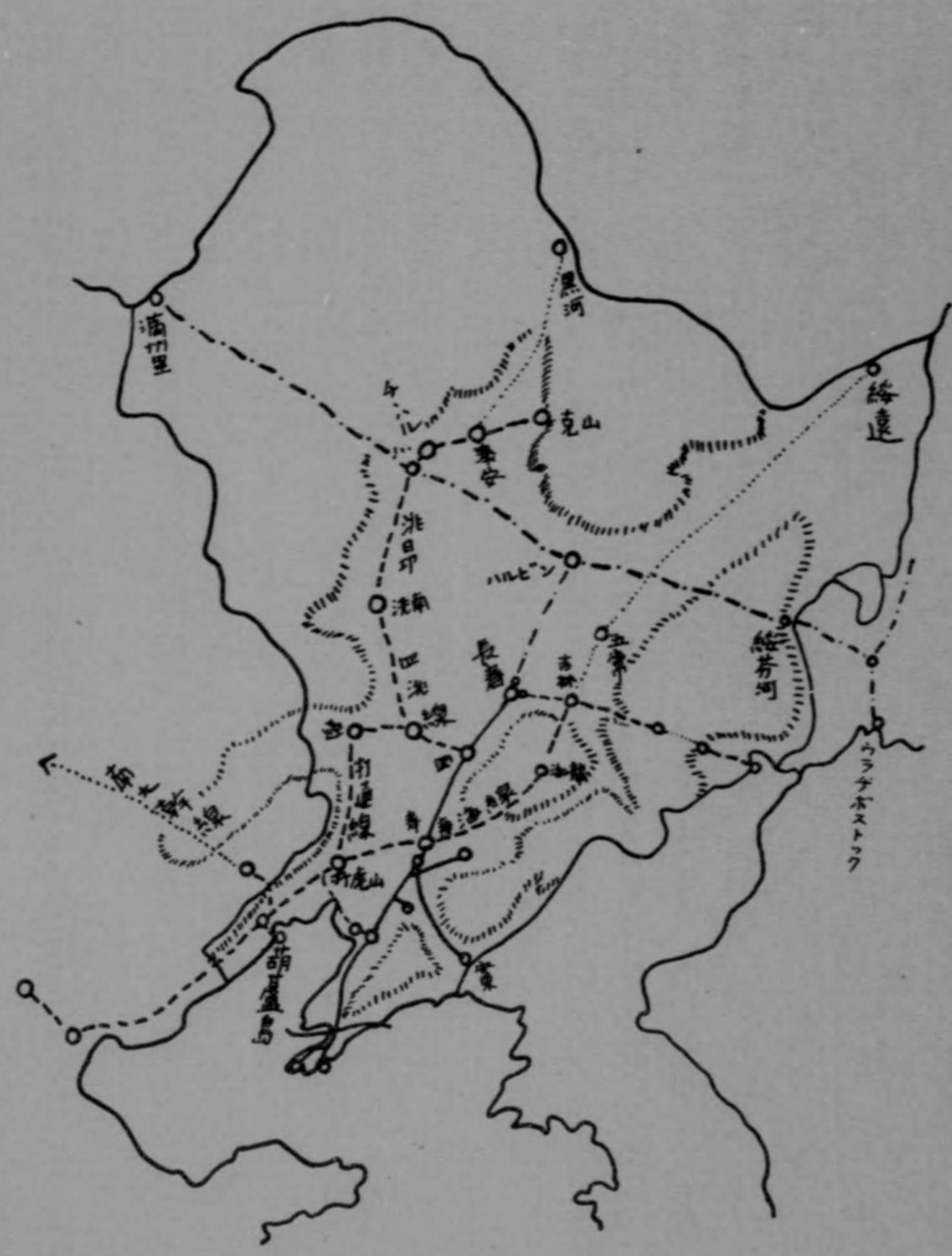
滿洲問題

一、滿洲の過去と現在

ロシアの侵略

日露戰役當時(今から三十年前)の滿洲はたゞ僻陬未開の曠野であつた。此の無限の曠野に向つて最初の歐洲文化を傳へたのは即ちロシアである。ロシアは一九〇三年七月東支鐵道を全通せしめ、支那

に於ける外國鐵道敷設の魁をなしたのである。かくしてその後三十年、今や支那鐵道合計一萬三千軒、



第 22 圖 滿洲の鐵道網



擧げて外國の投資借款によらざるは無きの現状とはなつたのである。  
 東亞の一角滿洲の北端にロシア文化の第一鈴が鳴り渡るや、萬國これに着目し、その成り行きを凝視したのであつた。

ロシアの滿洲侵略は決して理由のない事ではない。その本國は、海岸線長きヨーロッパにあるも、その地理的位置は北偏し、加ふるに海洋は北極海、バルチック海、黒海、裏海に四分され、その三個は永い冬の眠りに結氷し、僅かにオデッサのみが不凍港である事は、ロシアをして、南海を求むべくせしめた原因に外ならない。クリミア戦争と言ひ、或は中央アジアの侵略と言ひ、シベリアへの侵出と言ひ、何れもこの要求の具象的表現であつた。地中海を求むべくしてトルコと戦ひ、印度洋を求むべくして英國と衝突し、アフガニスタンの緩衝國を設けるに及んで先鋒は空しく碎かれた。かくして太平洋岸の不凍港を求めんとして先づ滿洲に於ける東支鐵道を敷設した理由は了解される事と思ふ。ウラジボストックは一八六〇年、ニコライエフスクの軍港を移轉し、比較的南方に軍港を得たロシアはその後四十年にして東支鐵道を敷設したのであつた。かくして遼東の一角旅順は彼等スラブ民族の最南端の軍港として、當時は時代の尖端に立ち、靜かに活躍の日をば俟つてゐたのである。されどロシアの滿洲入りは文化の傳導が目的では無かつたから、當時の滿洲住民との文化的接觸は絶えてなく、侵略主義、軍國主義の旗を翳して向ふ所その猛威を振ふ野獸に似てゐたから、土民の反感を買つた事は決して無理ではなかつたのである。

日本の滿洲入り

一九〇四年二月から一九〇五年五月廿七日、日本海海戰迄かゝるロシアの先鋭をくじかんとして滿洲原野を中心とし、海に陸に應戦して遂にその目的を達した日本は、此の時に於て滿洲に對する一地步を占めるに到つたのである。ロシアの軍略主義に代るに日本の經濟植民政策は彼等土民の心をい

たく柔けたのであつた。かくして爾後二十有餘年我が日本にとつては列國監視の中にあつて臥薪嘗膽の記録であつた。同胞十萬の戰骨芳る滿洲の荒地は、今や生産豊かな東亞の穀倉となり、世は擧げて滿洲の地を讚美するに到つたのである。

今昔の數量

苦闘こゝに三十年、この間に於ける滿洲の文化的發達には如何なるものがあらうか。滿洲の面積は約一〇〇萬方籽、我が國の約一倍半に達する地域である。

人	口	一九〇八年	一九二八年
耕地割合		一七〇〇萬人	二七〇〇萬人
貿易割合		一〇〇	一六五
鐵道		三三三〇籽	六〇〇〇籽

この地域に於て一九〇八年から一九二八年間に到る二十年間に如何なる發達をなしたであらうか。人口に於て一〇〇〇萬人を増加した滿洲は農耕地に於て一倍半以上を増加し、その貿易は三五倍に達して今や一〇億圓の取引を見、大連は支那に於ける上海の次位に上る大貿易港となつたのである。又鐵道に於ては約二倍の躍進を行ひ方に東亞のベルギーとして矚目され、今後に於ける東亞の一大工業地帯としての準備おさ／＼怠りない有様である。かく偉大なる又急速なる發展をとけつ、ある滿洲とせしめたのは、實に成が南滿洲鐵道會社である。

二、滿鐵會社

滿鐵會社は半官半民の會社である。その總裁と理事とは政府の任命する所となつてゐる。又會計の監督は會計検査院、大藏省、拓務省で行ふ。明治三十九年六月七日勅令で發表されて成立し、後藤新



平は第一期總裁の椅子を占め、明治四十年四月一日から開業したのである。現在大連に本社を置き、資本金四・四億圓、社債六億圓即ち合計十億四千萬圓を運用して滿洲に於ける南滿洲鐵道本支線の營業、鐵道附屬地内の土木、教育、衛生に關する施設を行つてゐるのである。而してその社員は四萬人、俸給毎月三五〇萬圓、又年々文化事業のために投ずる費用は一三〇〇萬圓に達すると言ふ。かくして毎年その純益は昭和三年度に於て七四〇〇萬圓に達してゐる、七四〇〇萬圓の數字は此れを具體的に示すならばスエズ運河一年の収入が約七〇〇〇萬圓である（此れは船一噸通過毎に二・五圓宛の通過税を取るため）又米國の有するパナマ運河は約五〇〇〇萬圓の収入がある。（一噸通過毎に二圓）即英のスエズ運河、米のパナマ運河と同様の純益を得てゐるものが日本の南滿洲鐵道會社である。鐵道の運輸政策は能ふ限り運賃の遞減にある。例へば二四〇糎以上の地を運ぶために、二等級貨物であつて一噸につき滿鐵は七・九圓、支那側の鐵道は九・四圓、東支鐵道は二八・六二圓である。此れを見ても南滿洲鐵道が運賃の遞減策を講じてゐる事が了解されるであらう。かくして大なる貢獻をなした來つた滿鐵會社、而して今後とも順調なりズムと共に發展する筈であつた滿鐵會社の向ふを張つてこゝに一大難事が勃發したのである。

### 三、支那の覺醒

一大難事とは他なし。即支那の鐵道敷設熱の勃興である。かく支那が鐵道を敷設するに到つた原因は何邊にあるか。此れには種々の原因を含んでゐるが、その主なるものは次の如くである。

1 外國關係鐵道の業績が與へた刺戟、即ち主として、我が南滿洲鐵道その他二三の鐵道營業の有利な事を支那の官民が知る所となつた事である。

2 利權回收熱の一現象。これは歐洲大戰後、特に支那に傳はつた思想である。即ち外國經營の支那

國內の營業をすべて自國に回收せんとする思想である。さきにロシアの經營してゐた東支鐵道は露支合辦の形に改まり、英國は威海衛をドイツは膠州灣を返却したのである。又近時はフランスも南方の廣州灣を返却せんとしてゐる。

3 軍事的必要。内亂に次ぐに内亂を以てし、國內紛争の常に絶えない支那は、時に北から南へ、南から北へと軍隊及軍需品の輸送を行はなければならぬ。その度毎に外國經營の鐵道を使用する事の不便を痛感した事は、過去一再ではなかつた。こゝに支那は自國政府で經營する鐵道によつて廣い國內の安寧を維持せんと欲してゐるのである。

4 軍閥、官憲、地主の私利的目的。利欲に目のない中國の民は、鐵道建設以前の安價な土地を買ひ占めて、鐵道を敷設し、地價の急激なる暴騰に依つて一時千金の夢を見てゐるのである。

かくて今や滿洲に於ける日本の地位の確保を破壊し、對抗すべき支那の自國經營鐵道網建設の計劃が實現されつゝ、あるのである。

### 四、滿蒙の鐵道網

#### 1 地理的位置とその價值

さて然らば此等の日支兩國を主とする滿洲の鐵道は如何に分布してゐるか。滿洲に於ける鐵道は現在六〇〇〇糎に達し、支那全鐵道の1/2を滿洲に有し、滿洲は支那第一の鐵道高密度地帯である。南船北馬の語は現在南船北馬の語に代らんとしてゐる。此の六〇〇〇糎の中

日	本	一一一糎	
支	那	二七六七糎	
露	支	合	一七二六糎

の如き勢力状態であるから日本は全滿洲鐵道の六分の一強を有してゐる事になつてゐる。然し乍ら鐵



道の能率は決して距離の大小にのみ依つて決定さるべき性質のものではなく、その一は鐵道敷設地の生産的能率の大小、文化的發達の高低に依つても決せられるものである。例へば我が南滿洲鐵道會社の一千千餘と言ふ數字は明らかに東支鐵道の1/2の數字である。然るにその實際の鐵道能率は滿鐵が東支鐵道に對して七倍の能率を發揮してゐるのである。即ち

東支鐵道	滿洲鐵道	日本内地
延長	二〇〇〇千	二〇〇〇千
輸送貨物	五〇〇萬噸	二〇〇〇萬噸
乗客	四五〇萬人	一〇〇〇萬人
利益	一〇〇〇萬圓	七四〇〇萬圓
	七三〇〇萬噸	七億人
	二・五萬千	五億圓

右表によつてこれを見ても、一籽の實收は滿鐵が日本内地のそれよりも多い。此の事は勿論滿鐵の鐵道經營法にも依るであらうが、その一大原因は南滿洲鐵道本線が占める地理的位置に關係するのである。即ち南北長方形に近い南滿洲の平野の稍々中央を南下し、大連と言ふ良港をその尖端にもつてゐる事はかく滿鐵本線の價値を大ならしめた主因でなければならぬ。

2 現在の鐵道網  
次に現在鐵道が如何に分布してゐるかを次表によつて見る。

日本	南滿洲鐵道
線名	正間
本線	大連—長春
安奉線	安東—蘇家屯
旅順線	旅順—周水子
營口線	營口—大石橋
延長	七〇一籽
	二六〇
	五〇
	二二

撫順線  
其他小範圍にあり

撫順—蘇家屯

五二

合計

一一一籽

露支合併

東支鐵道

滿洲里—綏芬河  
哈爾濱—寬城子

一七二六籽

支那

平瀋線(北寧線)

北平—瀋陽(奉天)

八七五(滿洲内)

吉長線

長春—吉林

一二七

吉敦線

吉林—敦化

二一〇

洮昂線

洮南—昂々溪

二二〇

四洮線(含鄭白線)

四平街—洮南

四二六

打通線

打虎山—通遼

二五〇

奉海線

奉天—海龍

三二五

其他

二七六七籽

而して此等の鐵道網の最も多い地方は、南滿洲平原であり、又その中心は瀋陽(奉天)である。數年前の地理教授はいつも「滿洲にはH字形の山地がありT字形の鐵道が存在する」と教授したものである。處が今ではT字形に更に縦線一本を加しなればならず、又更にX字形にもなつてゐるのである。然し現在は滿鐵の本線が主軸をなし、これから分岐したものが局部的に發達してゐる。

此等南滿本線から別れてゐる支那の鐵道建設權は日本が優先權を有してゐる所であり、所謂南滿本



線の培養線をなしてゐたのである。然るに近時此の培養線が一變して競争線に代つた事は日本の驚嘆する所でもあつた。即ち長春大連間の南滿本線に對して、その西部に並走する昂々溪、洮南、通遼、打虎山、葫蘆島間の鐵道がある。これが先づ我が南滿洲鐵道本線に對する競争線である。こゝに我が國と支那との交渉が初まるのであるが、これには深い事情が存在するのである。この關係を知らんとするには先づ米國が滿洲への侵入の歴史を知る必要に迫られるのである。

### 五、米國の進出

米國は日露戰爭直後、日本が滿洲鐵道の利權を得た當時、日本の財政急忙なる時に望んで、鐵道王ハリマンをして南滿鐵道の買収方を交渉し、日本は滿洲の將來重要な地域なるを推察して、米國のこの希望に對して拒絶したのであつた。かくして米國の滿洲進出の先鋒は先づ日本に依つてくぢかれたのであるから、米國は滿洲問題を通して日本に對し心よからざるものがある。かくして明治四十三年米國は滿洲に於ける鐵道の中立を叫んだのである。然るに未だこの意充分に擴張せられない内に、早くも歐洲の天地は暗雲低迷、かくして世界大戰となるや一先づ滿洲問題は一時立ち消えの状態となつた。世界大戰中、日本は米國と味方同志の仲となり、思ひなほつた米國は、日本の支那に於ける特殊利權の所有を認めなければならなかつたのである。これも大正三年十一月、日本先づ膠洲灣を占領し、越えて四年、山東半島還附を敢てした日本の態度に表面的にしても好感を持たざるを得なかつたからである。かくして世界大戰後世界に於ける日本の地位は、南洋の委任統治となり、滿洲の優先的地位の確保となつて、旭日昇天の勢にあつたのであるが、大正十年、ワシントン會議の席場に於ける米國の態度は全く言語に絶するものがあり、日本代表をして次の如く言はしめるに至つたのである。即ち、日本が滿洲に對して有する鐵道敷設のための優先權はこれを悉く國際借款團に提供すると。かくして大正十年（一九二一年）以來日本は米國の啄のため、滿洲に對する鐵道敷設の權力を失つたのである。

ある。

### 六、主要なる打通線

かくして五年、一九二六年、時の滿洲王張作霖は打虎山、通遼間二五〇軒の鐵道敷設計畫を發表した。若し此の打通線が全通する曉には一九一五年山東半島還附の時に締結した所謂二十一ヶ條條約の一ヶ條である所の「支那は今後滿洲に於て鐵道を敷設する場合は南滿洲鐵道に並行する並行線或は之れに準すべき鐵道は一切敷設せず、若しか、る計劃ある時は豫め日本の承認を得る」と言ふ條約に反する事になるのである。張氏がこの計劃を發表した當時の日本の態度はどうであつたか、滿鐵はこれをなすことをなし得ない支那の机上の空論として輕視したのであつた。

然るにその翌年一九二七年の一〇月二五〇軒の打通線が全通したのであつた。時に滿鐵、否日本政府の狼狽は一通りではなく、直ちに打通線が南滿鐵道の並行線なる故を以て抗議の提出と言ふ段取りになつた。時の張作霖の態度はどうであつたか、これに對して一言の挨拶をもなさなかつたのである。百の條約も一片の經濟争闘には抗し難く、日本は遂にこの問題に對しては、そのまゝ、沈黙のやむなきに至つたのである。張氏はその後の變死に依つて黄泉の旅路をつゞけ、今は張學良氏の時代となつてこの打通線は如何なる價值を現在發揮しつゝありや。

即ち打通線は遼河畔の通遼（白音太拉）に發し眞直南下して彰武に到り、北寧線の一驛打虎山に通ずるものである。而してこれは更に北寧線を南下すれば連山を経て葫蘆島に達し得る。

連山灣内の不凍港葫蘆島（フルタオ）の築港は爾後四年にして完成し、營口に代るべき近代的大港となし、日本の大連港に對抗すべき重要な港市である。遼河流域の豊かな農産物は打通線開通以前に於ては鄭白線、四洮線に依つて四平街に出で、こゝから南滿洲鐵道によつて大連港に向つたのである。又一九二七年、たとへ打通線開通後に於てもこの輸送量に變りはなかつたのである。然るに昭和四年



七月から物貨の吸引策を講じて運賃を減じ、又我が滿鐵經由の物貨に向つては重大なる釐金税を科する制度を設けて以來、打通線經由の物貨は頓に増加し、滿鐵經由は減少したのである。その一例をこゝに擧げる。

運賃改正後支那鐵道の貨物一車の運送量は二五〇圓であり、滿鐵は二九三圓であるから支那の鐵道の方が運賃が低廉である。かくして遼河上流貨物の通過量は次の如くである。

昭和三年七月—四年六月迄		昭和四年七月—昭和五年六月打通線經由	
高	梁	一〇〇〇車	二〇〇〇車
大	豆	二五〇	二〇〇
粟		一〇〇	一五〇
其他		一〇	五〇
合計		一三六〇	二五〇〇

即ちかゝる支那側の政策は功を奏し、打通線の交通量は倍加したのである。これに反して、滿鐵の交通量が減少した事は言ふまでもない。

此の如く僅々二五〇軒の打通線一本が作用する所の經濟は永年に互つては重大なものがある。即ち滿鐵の並行線の存在はこの意味からして一つの驚異でもある。かくしてかゝる並行線又は之に準すべき線、或は實に長距離に支那の鐵道が計劃されるならば、我が國としては之に對する政策を考慮せねばならぬ事になるのである。然らば現在如何なる支那の新計劃鐵道線があるか。

### 七、支那の新計劃線

これは大別して三とする。

- 1 東大幹線……葫蘆島—奉天—海龍—吉林—五常—綏遠(黑龍江畔)

- 2 西大幹線……葫蘆島—打虎山—通遼—鄭家屯—洮南—昂々溪—チ、ハル—黑河(黑龍江畔)
- 3 南大幹線……葫蘆島—錦洲—北票—赤峯—庫倫

が之である。その中東大幹線は既に吉林まで出来、奉天海龍間の奉海線が出来た當時はこれ滿鐵本線に對して並行に準ずる線であるとして一時八釜しかつた線である。又西大幹線はチ、ハルの北方まで出来てゐるが未だ各線毎に連絡してゐない事は缺點である。例へば昂々溪、チ、ハル間は輕便鐵道であつて東支線から三〇軒北方に離れてゐる。このチ、ハル町民は東支鐵道が出来ると、極端に東支線を忌避したので今は實に不便限りもない。更に洮昂線は、支那中央政府のもので、四洮線は我が滿鐵の建設したものである。更に打通線は滿洲王張氏の建設にかゝる。故に洮南では南北鐵道の連絡が極めて不便で一軒も途步連絡をなさねばならないのである。長春に於ても滿鐵の長春驛と東支鐵道の寬城子驛と吉長線の長春驛とは共に一軒の隔りがある。要するに支那側の各鐵道が連絡良好となり、すべての大幹線が連絡した暁には我滿鐵の打撃には相當大なるものが横はつて来る事であらう。

### 八、結論

ロシアの不凍港渴望から、歐洲文化の侵入を餘儀なくされた滿蒙の天地は、日本の侵入に遇ひ、米國の政策をも容れねばなくなつた。實に滿洲はアジアのバルカンである。然るに今や滿洲住民は覺醒する所となり、自ら先進文化を吸収し、自らの國を自ら開拓せんと努力してゐる。彼等を導きつゝ、あつた我が滿鐵と言ふ小教師の手を離れて、世に巢立たんとする滿洲の原野を目のあたり見る時代となつて来た。

米國は既に本年の初頭に於て支那に十億圓の資金を融通した。これは滿洲の原野に散布され、應て一條の鐵道となつて現はれる事であらう。日本は臺灣に對して既に三・五億圓の資金を投じて居る。又朝鮮に對しても既に八億の資金を投じて治安を維持してゐる。然るに朝鮮、臺灣は我が植民地であ



る關係から是非もない事であるが、支那國土のためには既に三十四億圓の大金を投じ内滿洲だけでも十四億圓の投資をなしてゐるのである。かくして安らかに眠り得る滿洲たらしめて、未だその利益の何程をも回収し得ない現今に於て早くもかゝる鐵道問題に直面せざるを得ない我國植民事業の薄幸なるを思はざるを得ないのである。

エチプトは既に英國の完全なる羈絆を脱せんとし、印度はガンヂーを首領として本國に自治を迫り、フィリッピンは私かに獨立を希望してゐる。滿洲が日本の恩恵から離れんとする努力と合してこれは東亞に於ける當に三一年の世界四大政局難問の一である。英米日三國にからむ大問題である。かくして今や波靜かなるべき太平洋の波は、既にして怒濤を起さんとし、海に陸に暗雲低迷たる時期と言ふべきである。

## 6 政治地理上より首府を論述せよ。

〔解〕 (一) 首府の進化 (1) 昔時の國家と首府——最も原始的な國家は地中海の東方に現はれ、當時に於ては國家即ち首府であつた。國家を滅ぼす事は首府を攻略すればよかつた。バビロン、ニニブ、カルタゴ、ギリシャの各都市國家、フェニキヤのそれの如きである。この時代にあつては首府の滅亡は即ち國家の滅亡であつた。

(2) 後に國家の面積が擴大され、首府はその政治的の中心と云ふ意味のものとなつて來た。此の時代に於ても首府の滅亡は國家の衰頹を意味し、兩國の戰爭は首府の攻撃にあつたのである。この時代に於ては首府は該國家の政治的中心許りでなく、經濟、交通の中心でもあるからである。

(3) 次の階程に進むと首府は國家の政治的中心といふだけに過ぎない。即ち一都市として存在する事になるのである。故に首府を攻略しても、國家の滅亡にはならなくなるのである。

(4) 更に首府として進化したものはアメリカのワシントン、メキシコ國のメキシコ、濠洲のカンペラの如く行政中心が中立地域として存在し、都市としては經濟交通の中心が他に移動して二流どころの都市となつた様な場合である。

(二) 各首府の地理的位置の吟味——ラッツェルの言の如く最大面積を抱擁して最小の國境を有する國家は圓である。又その中心に首府のある國は國の統制上、國防上有利である事は論を俟たない。然し乍ら此の理想的國家の形態とその首府の中心的位置を占める所の國家は世界にない。イスパニアの首府マドリッドは殆んど中心に近く存在してゐて各國境又は海岸の主要地點へは一五時間内外で達せられるから、首府としての地理的位置は理想的である。又大戦後のトルコの首府アンゴラもこれに近いものである。中心でなく少しく偏してゐる場合が可成り多い。パリ、ベルリン、ブカレスト、モスコ等はこの例である。更に一層國防上、統制上不利な立場にあるのは邊縁的位置にその首府がある場合である。ロンドン、リスボン、コペンハーゲン、ワシントン、リオデジャネイロ、モンテヴィデオ、舊支那の首府北京、舊印度のカルカッタ等がこれであ



る。此等は通商經濟上一國中重要なる地點に存在する事から首府となつたものである。

(三) **首府の移動性**—首府の移轉は種々の場合に行はれる。新植民地の場合は海岸から發達して行くから最初は海岸に選ばれるが、文化が内地へ進み、國家的の重心が内部に移るに従つて首府も内地へ遷移する。例へばシドニーにあつた首府はカンベラへ遷され、カルカッタからは德里に遷され、ブラジルの首府もリオデジャネイロからゴヤス州に新首府を建設遷都する準備を了してゐる。

次には革命或は戰爭のために國家領域の増減を見た場合に首府は遷移される。支那には古來數多くの首府が出來、最近も北平から南京に移されたのである。ロシアはレニングラードからモスコへ、トルコはコンスタンチノールからアンゴラへ移されたのである。又日本の首府が京都から東京へ遷都されたのは革命とまではいかぬが、これに準すべき政治的變動と見る事が出来る。此の如く首府の移動性はその國家が膨脹力に富んでゐる程著しいのである。

(四) **首府の固着性**—此の反對に首府が一國の政治を支配するのみでなく、産業上、交通上に相當の根をはるやうになれば首府の固着性は大となる。即ち因襲的關係から移轉が他の國家的機能に大なる悪影響を及ぼす様な場合には固着性が大であり、これは又一面歴史的情性と見る事が出来るのである。例へばノールウェー、スウェーデンが分離し

た後でも尚デンマルクの首府がコペンハーゲンであつたり、奧國互解後のオーストリアの首府がウィーンであつたり、反對にプロシヤがドイツ聯邦を組織して聯邦に君臨してもベルリンが依然として首府であつたりするのはこれである。

文献 飯本 信之著 政治地理學 二八五頁

7 **ソヴィエト聯邦の自然景域を説述し、併せてそれが同國の統一性に及ぼす影響を論述せよ。**

〔解〕 (一) **自然景域**—現在ヨーロッパ洲に存在するロシアは面積が四四〇萬方籽で、その自然景域は一言にして盡し得る削剝平原である。即ち最高はボルガ台地の四〇五米及びバルダイ丘の三二二米でその他ドン台地、北ロシアリユツケン、ドニエブル台地等の台地性の地域と、その間を流れるボルガ、ドン、ドニエブル、ドヴィナの諸川が廣大なる低地を流れてゐるだけである。

(二) **統一性に及ぼす影響**—地形はかくの如く全く單調であるから、これが中央集權的作用を大ならしめ、而して大ロシアの建設には大なる膨脹促進的作用を促すのである。即ち群雄割據が行はれたにしても、之を維持すべき何等の自然的防禦物が存在しないから、勢として四分五裂の状態となるのである。

更に同國の河川の流路を見ればモスコを中心として四方八方に自然の通路が開け、



その上分水界は低いから連絡運河を以て北の海やバルチック海と黒海、裏海を結ぶ事が可能である。而して經濟上は氣候的差異のために自ら北部と南部との交易が行はれなければならぬ。かゝる自然的現象は更に同國の統一制を促すものである。同様にして單調なるシベリアを制御し、こゝに一層廣大なるソヴェート聯邦を組織し得たのである。

文獻

飯本 信之著

政治地理學

佐藤 弘著

政治經濟地理學

拙著

觀觀世界地誌 上卷

### 第五節 世界地誌の問題

#### 問題

- 1 アメリカ合衆國の石炭、石油、鐵の主産地を圖示しこれを説明せよ(昭元四五、予)
- 2 ルーマニヤ國の地圖を描き其の人文地理を説明せよ(昭二、四七、予)
- 3 チェコスロバキヤ國と海外諸國との間に於ける交通につきて述べよ(昭二、四七回、予)
- 4 黃河流域の地圖を描き其の地方の自然地理と人文地理とを説明すべし(昭二、四七、本)
- 5 アメリカ合衆國の大西洋沿岸平野の地圖を描き之を三地理區に分ちて地形と人文との關係を詳述せよ(昭二、四七、本)
- 6 支那の氣候を詳説し且つこれと農業との關係を述べよ(昭三、四九回、予)
- 7 デンマーク國の人文地理を述べよ(昭三、四九、本)

8 英領印度の産業を述べ本邦との貿易狀態につきて詳述せよ(昭四、五一、予)

9 オアフ島の地形と産業とに就きて詳述せよ(昭四、五一、本)

以上の昭和五ヶ年間に於ける世界地誌の問題は拙著概觀世界地誌にすべて説明してあるからこゝには省略する。

### 第六節 日本地誌の問題

#### 問題

- 1 天龍川流域を圖示しこれを説明せよ(大十五、四五、予)
- 2 筑紫平野の地誌を述べよ(大十五、四五、本)
- 3 近江盆地の人文地理を説明せよ(昭三、四九、予)
- 4 南九州の人文地理を説明せよ(昭四、五一、予)
- 5 信濃川流域につきて説明せよ(昭五、五三、予)
- 6 神戸市を地理的に説明せよ(昭五、五三、本)

#### 解答注意

日本地誌は世界地誌と共に地理研究の總和であり、總決算である。地形、氣候を土臺としてその上に打ち建てられた人文諸現象を説明しなければならぬ。此のためには随分多くの時間を要する。例へそれが一小河川の流域或は一小盆地の地誌であつても、そ



こで此の地誌の問題は如何なる順序に記述するかを充分に吞み込んで置く必要がある。一番手取り早い方法は該地域を先づ地理區に分類して述べる事である。こうすれば全體として記述洩れがなくなる。數年前迄はまだ地理區といふ事が流行しなかつたので、何でも地形、氣候、産業、交通、都邑の順を迫ふて述べなければならなかつた。之では何々の地理を説明せよといふ問に對して餘りに廻りくどい。地理區に分類してその特徴の最も鮮かなものを一つ、又は二つ記述すれば事は足りるのである。

現在日本地誌の参考書としてよいものは少ない。田中助教授や辻村助教授の教科書を骨子としてそれに肉をつける事が肝要である。三省堂の教科書もよい。山本熊太郎氏の概観日本地誌上下兩卷は此の目的の大部分を満たして下れる。たゞ細密である事が手取り早くないわけである。従つて日本地誌には相當の時日を費してノートを作製する事が特に必要である。又地形學で學んだ知識、氣候學で學んだ知識、其の他の一般地理書で學んだ知識を寄せ集める必要がある。この事は獨り日本地理許りではなくすすべての試験問題がさうであるが、實際試験場に望んだ時には、その問題について自分が著作するつもりでかゝらなければならぬ。参考書教科書の内容そのものが試験問題として出る事は少ないのである。故に屢述べる如く地理は自分の地理になつてゐなければ試験を受ける資格がないのである。特に發達未熟なる日本地誌に於てその感を深くするのである。

## 1 天龍川流域を圖示しこれを説明せよ。

〔解〕 地理區

- (1) 諏訪地溝帶
- (2) 伊那谷地方(伊那飯田盆地)
- (3) 峡谷地方
- (4) 下流平野地方

(一) 諏訪地溝帶——天龍川は源を本州中部の諏訪湖に發する。こゝは諏訪平と名付ける信州の平と呼ぶ平地の一であり、地溝帶の典型である。地溝を決定した斷層崖の一は糸魚川静岡構造線の一部であり、他は八ヶ岳、立科山の西麓をなすものである。北西から南東走する此の地溝は曾て諏訪湖が大部分を被ひ、六斗川その他の河川が湖水へ流入してデルタを作り、一方天龍川は湖水の西部を切つて流れ、かくして湖面は漸次縮少され、現今では面積一五方軒、深度七米の諏訪湖が海拔七五八米の地點に存在するのである。湖岸の沖積平野は水田となり、山麓は養蠶、又温泉町が發達し、全平地には十六萬人の人口がある。この内上諏訪町はこの地域の商業地として人口二萬を有してゐる。下諏訪町は湖の北岸にあり昔時の道路交通時代に於ける交通の中心であり、中山道と甲州街道との會合點に位してゐる。天龍川の出口に發達する岡谷は我國第一の製絲業地で、五



萬の工女が年二億圓以上の生絲を製造してゐる。かく此の地が製絲業地として發達した理由は(1)歴史的に發達し、(2)地理的位置が養蠶業地帯(群馬、長野地方)の中心にある事、(3)天龍の水清きこと、(4)乾燥氣候のために繭の貯藏に便利なこと等を擧げる事が出来る。かくして今や製絲工場三〇〇にも達せんとする。氣候の關係は湖南平地に寒天を製造し一五〇萬圓の収入を上げてゐる。

(二)伊那谷地方—天龍川の上流には二つの盆地がある。一は伊那盆地、他は飯田盆地である。此の二つの盆地は赤石の楔狀山地と木曾の地壘との間に挟まれた一續きの地溝帯で辰野から飯田町まで六〇軒あり、幅員は一〇軒以上の狭長な地溝である。地溝の成生された後天龍川の下流に隆起作用が働らき、一時地溝帯内は侵蝕の微弱があり、沖積平地をつくり、又山地からはこの平地に向つて流入する多くの支流が扇狀地をつくり、今ある平地を生じたが、懸て侵蝕の復活があつて數段の河成段丘を兩側に發達せしめた。河は盆地底を深く侵蝕するから、道路及交通機關は段丘上を通過し、こゝに伊那町、飯田町の地方都市が發達した。

(三)峡谷地方—飯田町の南方天龍峡附近から静岡縣の二俣附近迄は所謂赤石山脈の西方への延長地域で花崗片麻岩、結晶片岩、古生層を以て構成される。天龍川はかゝる地域をアンテシーデントの流路を以て切斷し、五〇〇米もの深いキャニオンを作つてゐる

のである。されどこの流路の一部は中央裂線の通過地であり、昔時より信州への通路となつて居り、鹽の交易路でもあつた。

(四)下流平野地方—二俣以南は昔時の海底であり、遠江灘はこの古生層山地の山麓まで侵入してゐた。こゝに天龍川が巨大なるデルタを作り、後地盤が隆起して磐田原と三方ヶ原の二大隆起三角洲を生じた。更に河は新期の沖積平地を生じ、現在に於ては遠江灘にカスプ形に突出してゐる。こゝは山間の地溝帯と異なり、氣候溫和なるため舊三角洲の表面は畑地となり、茶を栽培し、新三角洲の遠江平野は水田となつてゐる。平地と臺地の境界點が濱松の近代工業都市である。

## 2 筑紫平野の地誌を述べよ。

〔解〕 (一)四盆地—筑後川流域には上流、中流、下流に分けて四つの盆地がある。上流には森、日田の兩盆地が山間に存在し、中流及下流の盆地は大體連續した一つの筑紫平野である。

(二)筑紫平野の地形—筑紫平野は構造上から見れば内帯と阿蘇火山帯との境界に存在する低地帯で、背振山脈、三群山地を北に有し、耳納山塊を東に有し、有明海は筑紫平野の延長である。平野の輪郭の一部は構造線によつて決定され、平野面の存在は筑後川の沖積作用によつて決定されてゐる。



(三)地質と産業—沖積平地は久留米以東の中流平野と以西の下流平野とに別れ、二つの境界は低い丘陵性の洪積層によつて境されてゐる。沖積層の低地は二〇〇萬石の米産地帯で、南部は濕潤であるから灌溉、排水の溝渠が發達してゐる。

北の背振山脈と三郡山塊は花崗岩よりなる斷裂山地であり、その北東部と西部には筑豊炭田と唐津炭田がある。又南東部の山地は古生層よりなり、その西麓には第三紀層が附着してゐて所謂二〇〇萬トンの三池炭田を出現せしめた。こゝに大牟田一〇萬の工業都市が起り、*Wet Dock* の設備を有する石炭輸出港三池が發達した。

(四)都市—佐賀市四・六萬は鍋島三六萬石の城下町として下流平野の西部に發達し、今では地方行政の一中心をなしてゐる。有明灣頭の住ノ江は唐津炭の南の輸出港となつてゐるが、有明海が浅いので吃水十呎の汽船(一五〇噸)しか這入れない。久留米は下流平野と上流平野との分界點に發達した都市で、有馬二一萬石の城下であり、現在では北九州軍事の中心都市である。又柳川、城島は下流平野の主邑である。

### 3 近江盆地の人文地理を説明せよ。

〔解〕 (一)産業—近江盆地は四周山地を以て圍らされ、純然たる一地理區をなしてゐる。此の盆地は近畿地方一般の諸盆地に似て、その長徑は南北であり、こゝに琵琶湖が湛へられてゐる。東は伊吹、鈴鹿のホルスト、西は比叡のホルストが見事な斷層崖を盆

地面に向けてゐる。盆地底は往時一大湖盆であり、安曇川、姉川、犬上川、愛知川、日野川、野洲川の諸川が埋積して沖積平地を作り、一方瀬田川は瀬田に於て湖の水を排水してゐる。かくして出現した平地が近江平野である。

平野の大きさは野洲川流域に於て最も廣く、こゝが近江米の主産地となつてゐる。鈴鹿山脈は平野面に漸次移化する部分が多く、沈水して平野面上に鐘山、三上山等の孤立峯を示してゐる。この一は安土の城となつてゐる。平野面が湖東に於て特に廣いのは湖の西側に沿ふ斷裂陷没が甚だしく一つの斷層角窪地をなすからである。北東部では養蠶業が發達し、長濱はこれによつて濱縮緬を産し、東部は麻の産地となり、八幡は蚊帳の産地として發達した。又湖底に近い大津は近代工業の一である綿工業が盛んとなつた。

西部は安曇川の三角洲のみが米産地帯となり、その他は地方的の織物があるに過ぎない。又湖面は淡水魚が棲み、一大養魚地となつてゐる。

(二)交通—四面山地を繞らしてゐるが處々に低い峠があるため、且つは我が國の中央部に位置し、又南方も北方も中部と近畿を結ぶべき好い通路のないために自然に交通上の中繼となつてゐる。この事は日野を中心とする近江商人の發祥の地ともなつたのである。盆地から出る通路は西方は逢坂山の峠、南方は鈴鹿峠、東部は伊吹峠、北部は柳ヶ瀬の峠によつて京都、伊勢、中部、北陸に各々通じてゐる。今でもこの四個所にトンネ



ル又は堀割りによつて鐵道を通じてゐる。

陸路此の如くであるが、更に眼を轉すれば我が國最大の淡水湖が南北走してゐる。湖面は海拔八七米であり、最大水深は北部の九六米であつて舟航は自由である。現在湖南汽船會社の汽船が湖上輸送に従事してゐる。たゞ一つの缺點は宇治川が横谷を以て切る急湍の存在によつて直接大阪と琵琶湖との連続航路が開けない事である。もし大阪から琵琶湖迄連続される航路が開かれ、更に日本海岸の敦賀迄僅々五里に過ぎないのであるから、湖の最北端にある鹽津から敦賀に至る斷層線を利用する所謂阪敦運河の計畫は夙に叫ばれてゐたのである。かくしてその第一工事である大津京都間の疏水運河を開鑿したのであつたが、既に鐵道交通に勢力を奪はれて自然にこの運河熱は下火となつたのである。このため疏水は京都三條蹴上げに於てインクラインを利用して電力を起し、我國最初の市内電車は京都に現はれ、水は京都市民の飲料水及び山城盆地の灌溉用水となり、西陣織の織物用水として用ひられてゐる。

(三) 都市——大津市は本田氏六萬石の城下であるが志賀京師の跡としても有名であり、草津は北陸道と東海道との分岐點に當る宿場町であり、米原は現在の東海道と北陸線との分岐點に當る。彦根は湖東平野の中央に位し、井伊二五萬石の城下町として名高い。

#### 4 南九州の人文地理を説述せよ。

〔解〕 (一) 南九州の範圍——松山八代構造線以南を南九州といふ。四國山脈の西の連続である九州山脈とその南に噴出してゐる霧島火山脈の諸峯は南九州の骨格であり、その中に或は周圍に人吉盆地、日向海岸平野、都ノ城盆地、鹿兒島地溝帯、川内川溪谷の諸地域が存在する。

(二) 九州山脈——九州山脈は白堊紀の終末に北北西の方向から壓縮された褶曲山脈であるが、現在の高度分布を決定した主なる原動力は第三紀に行はれたブロック運動である。従つてその高度は決して均一に規則正しく分布してゐないのである。この山地を直角に切る五箇瀬川の斷層谷などがあつて處々低い峠をもつてゐる。こゝが南九州と中九州及北九州への交易路となるのである。日豊線は宗太郎越、肥薩線はループを以て矢岳の峠を越へ、鹿兒島本線は三太郎越を通過する。

北東部は陥没した豊後水道に面して沈水した支脈がリアス式海岸の典型なるものを作り、臼杵、佐伯の各城下町はリアスの灣頭に發達した。北の佐賀關は地藏崎半島の地頸部に存在する金、銀の精鍊が盛な所である。又九州山中で谿谷の上流には孤立部落が存在する。一ノ瀬川上流の米良莊、球磨川上流の五家莊、美々津川上流の椎葉村はそれである。

(三) 日向海岸平野——は九州山地を一大傾動地塊と見た場合、その背面末端に存在する



壯年期の海岸平野である。北部は沈降し、南部の佐土原附近に隆起が極大であつたから、平野の輪廓は北に尖つたウェッジをなしてゐる。氣候は良好で神代に文化地帯となつたのであるが、海岸には良好がなく、且中世に於いて朝鮮支那の交易の行はれた時代には孤立の立場にあつたので文化は遅れた。これは土佐の平野と好一對である。宮崎市は唯一の文化地であるが地方縣政の中心であるに過ぎない。五箇瀬川、美々津川、一ノ瀬川、大淀川等數多のコンセクエントの河川は平地を造つたが隆起が等しかつたので丘陵地の間に稍、深い谷を有し、水田は平野面積の割合に多くない。

(四)人吉盆地——は球摩川横谷の上流に存在する斷層盆地である。軍事的の關係から鹿兒島本線が通じたが文化はたゞ選移點として發達したに過ぎない。

(五)鹿兒島灣附近——東に大隅、西に薩摩の大半島を有してゐるが、これ等は多く霧島火山の火山灰によつて被はれた火山灰臺地をなし、牧馬と畑地が多く、煙草を栽培してゐる。國分はその中心である。又この地方には金産地が多く、北九州の石炭産地と對立してゐる。山ヶ野、串木野はその雄であり、芹ヶ野、漆などもある。

半島が南方の暖海に突出してゐる事は土佐、和歌山、静岡等と同じく水産物があり、カルデラ港である山川港や、その他枕崎、内之浦等の漁港が發達し、坊津は早くから開けた上古三津の一となつてゐた。

鹿兒島市は島津七七萬石の城下として九州南部で君臨し、現在に於ても南九州文化の中心であり、我が國縦貫鐵道の南端であり、南九州唯一の開港場でもある。都城盆地の中心都市は北郷氏の城下として鹿兒島藩の派出所であつた。

#### 5 信濃川流域について説述せよ。

〔解〕 (1)地形——上流は千曲川、犀川の二川となつて流れ、川中島附近に合して信濃川となり、北東流して下越平野をつくり、新潟市に於て海に入る吾が國最長(三六〇軒)の大河である。大河にも係らず舟航は淀川のそれに比して著しく少ない。これは吾が國中部の山地間を多くは峽流を作つて流れるがためである。従つて上流及び支流では發電所が設けられてゐる。

長野縣下に於ける信濃川は四個の大盆地を作つてゐる。これはホッサマガナの中にある他の數個の盆地と等しく斷層陷没の盆地である。犀川上流の松本盆地はその西縁が糸魚川静岡斷層崖となつて現はれ、山中から放出する梓川、烏川、中房川、高瀬川は山麓に於て見事な扇狀地をつくり、盆地底を漸次埋めつゝある。盆地を流れる諸川は明科の附近に於て合し、第三紀層よりなる安曇丘陵を峽谷を以て切るのである。安曇山地の西側も新斷層崖をつくり、松本盆地の北部は狭長な地溝帯となつてゐる。こゝに木崎湖、青木湖の湖水が湛へられる。



千曲川の最上流は佐久平と呼ぶ地溝盆地で西は立科、東は關東山塊の間を段丘をつつて流れる。上田盆地の北側も見事な斷層線であつて段丘の發達してゐる事は最近の侵蝕の復活を物語るものである。

二川が合して善光寺平となり、こゝでは荒川の斷層線と、北東走する斷層線との交叉地帯を現はし、信越の國境をキャニオンを作つて北東流する。越後に出た信濃川もその流路は北東で、又その支流系魚川その他二三も皆北東流である。これは越後山地の西麓に階段的に發達する北東走する斷層線に支配を受けてゐるため、かくして遂に下越の沖積平野を潤し、日本海に注ぐのである。

(2) 氣候、地形と經濟との關係——長野縣に於ては盆地底であつても高度四—五〇〇米に達し、氣候は冷涼で、夏季は高温、冬季は我が國內地に於ける嚴寒の地方である。米の産地は割合に少く、桑を栽培するのである。桑は此の盆地經濟の中心で、すべての盆地の主要都市は製糸業地として發達してゐる。上田市、松本市、松代、須坂はこれである。桑は無霜期間一八〇日以上を必要とするから、冬季速かに霜の訪れる山地は不利で盆地底に行はれるが、水利のよい沖積平地は水田となるため、山麓又は段丘上が利用される。又こゝが主要聚落の發達する地域でもある。即ち山麓が最高の文化地帯である事は我が國の他の盆地と共通する。次に氣候の乾燥する事は繭の貯藏に便であり、他の職

業のない此の地方では養蠶にいそしむ事が出来るのである。かくして諏訪盆地と合して此の中央高原中の盆地群は日本の生絲經濟を完全に支配しつゝあるのである。

(3) 交通路と地形との關係——概括的に言ふならば信濃川の流路は現今の鐵道線と大なる關係を有してゐない事である。即ち河谷を鐵道線が利用してゐない事である。たゞ信越線の一部は千曲川の右岸を北西走するが、これさへも斷層線に支配されてゐると云つた方が至當である。何故にかく河原と交通路との關係が密接でないかと云へば、それは此の河川が無理な山地を時々峡谷をつくるためである。即ち中部の高地は斷層線の有無が全く交通線を支配してゐる事である。これは獨り現時の鐵道交通のみでなく、往時の道路にも符合せしめる事が出来る。即ち和田峠を利用する中山道は信濃川を何等利用しないのである。長野から直江津に出る方が長野から長岡に出るよりも自然の通路である。従つて信濃川を利用する鐵道の建設は、他の斷層線を利用するものよりもづつと遅れたのである。一例を挙げれば信濃線が荒川の斷層線に沿つて夙に設けられ、最近に於て清水峠が開鑿されたが如きである。又松本から長野に通ずる篠井線は犀川の流路に従はないで北東走する一構造線を通過するのである。

以上の事實は昔時の鹽の運搬路に於ても全く同様であつた事は最近田中助教授が發表された事である。



(4) 信濃川下流地域—信濃川は一度越後平野に下つた時はそこで水田を潤ほし、三〇〇萬石の米を産出するのである。方に平地へ出る部分は西山、東山の油田地帯となり、又山麓では五泉、三條の如き機業都市を發達せしめてゐる。更に河口は砂丘帯をつくり、その内側では潟湖が埋め残され、果實は更にその内側に發達する。即ち越後平野は海岸から砂丘地帯、潟湖の不生産地帯、漁村地帯、道路、果實地帯、米田地帯、山麓機業地帯と带状の文化景が見られる。

信濃川が土砂を流す事は新潟の港をして甚だしく寂寞たらしめ、却つて商業は山麓に近い長岡市が發達してゐるのである。

#### 6 神戸市を地理的に説明せよ。

〔解〕 (一) 地形—六甲地壘南側の階段斷層崖は三つのスカープを現はし、その下にはテラス(崖堆)を現はしてゐる。河川はコンセクエントの方向に流れて更に三角洲を突出せしめた。この崖堆と三角洲の複合



第二十三圖 神戸市の自然と人文

地帯が神戸市人口八〇萬の大都市發達地である。

(二) 港—神戸は三つの港がある。それは西から兵庫港、神戸港、葺合港がこれである。兵庫港は海深が大で最も早く港として價値付けられ、神戸港は生田川の三角洲上に築港された近代式の港市である。この神戸港は我が國に於ける西南日本の代表港で、後背地が近畿一圓で、前地はアジア大陸である。而して輸出(七億圓)よりも輸入(九・五億圓)の方が多く、輸入は阪神工業地帯の原料である繰綿、羊毛を主とし、輸出は工業製品である綿織物、生絲の類である。

(三) 工業—かくの如く良好なる港を有する必然性として工業が勃興した。工業は阪神工業地帯の西端をなし、和田岬半島の三菱造船所はフローチングドックを有する東洋唯一の工場である。又湊川のデルタ上には川崎造船所があり、その他精糖、製粉、紡績、マッチ等の工場が密集してゐる。商業區は神戸驛附近で、工業地帯の北部をなし、更に住宅地となつてゐる。これは全くスロープを有するテラス特有の地形が支配する文化景である。

(四) 交通—内地の交通は後背に山地を有するために多くの分岐をなさないが東西交通の一枚をなしてゐる。こゝが東日本の東海道線と西日本の山陽線との會合點である事も著名である。又三の宮驛は海外旅客の發着驛、和田岬驛は貨物専用のステーションである。



神戸が阪神工業地帯の西端であり、西に須磨、明石、北に六甲の休養地を控へてゐる事は大阪との間に阪急、阪神、国道等の電車を通じ、ケーブルカーを摩耶に通じ、神明電車を西に派出してゐる事によつて迅速にその目的を達せられるのである。

### 第七節 地名と術語の問題

地名又は術語は時々最後に出る事がある。昔の試験問題では随分出たのであるが、今日問題の傾向が變化して來て餘りこの方面の問題が出なくなつた。これは決して大切でない、重要でないと言ふ意味ではなく、こんなものは誰でも知らなければならぬ性質のものであり、事實地理學の内容に精通してゐれば自然に出来るもの許りである。又時に随分細かなものが出ることもあるが、知らなくとも仕方がない。又知つてゐても極簡単に記載すればよい。

昭和五年度の豫備試験には次の如きものが出てゐる。(1)アヂスアベバ、(2)プンタアレナス、(3)キーウエスト、(4)コーラ半島、(5)連山灣。

此等の解説は次の程度でよい。

(1)アヂスアベバはアフリカの内陸國アビシニア王國の首府で、同國は熱帯内にあるため首府としては海拔高度が高い方が便利である。この地は三〇〇〇米の高地にあつて人

口は五萬。

(2)プンタアレナスは南米の南端マゼラン海峽に望める給炭港でチリ國內に屬し、世界最南の都市である。

(3)キーウエストは合衆國フロリダ半島の南端から延びる珊瑚礁上にあり、パナマ運河、メキシコ灣に對する軍港である。

(4)コーラ半島はロシアの北部白海の西側にある半島であり、海岸には白人が居住し、内地にはアジア人種が居住する。

(5)連山灣は滿洲南部の港市葫蘆島のある灣入で、今後四年にして築港が完全される。我が國の大連港に對する支那の滿洲に於ける港市たらんとしてゐる。

### 第八節 描圖法の問題

#### 描圖法必要の程度

描圖法 Projection は再三述べる如く地理學の範圍から缺徐さるべき性質のものである。然し地理學の對象として常に地表を取扱ひ、地表を表現せんとしての地圖は常に使用されるものであるから、日夕吾々が友としてゐる地圖が如何にして生れるものであるか位のことを知らないのは教師として恥入る次第である。又その描圖のすべてが出来る



ためには高尚なる數學を必要とする。こゝに中等學校程度の學力であると餘程の困難を感ずるのである。この事は更に中等學校の教師側から見ても、かく六ヶ敷い數學を應用したプロジェクトン授ける必要はない事になるのである。従つてこの地圖はどんな特徴をもつてゐるか。どういふ理論の下に出來たものであるかを知つて置くのみが重要なのである。地理學講座の中に北田學士が書いてゐるあの半分の知識も必要はないのである。文檢受験生が地理科の試験を受けるについて「これだけは知つてゐなければならぬ」といふ程度は即ち「經緯線の性質」だけである。經緯線の性質を知るためには簡單なるその經緯線が生れて來る理論を知る必要がある。

若し理論が判るならば與へられた條件のもとにコンパスと定規を以て經緯線だけは描き得なければならぬ。如何なる圖法の經緯線でも描ければ、その式の圖の特徴用途は諒解されるわけである。

### 出題 度 數

描圖法に關する問題はその出題度數が極めて少ないのである。昭和となつてからはたゞ一題しか出ない。即ち昭和二年の本試験に出たのみである。又大正十五ヶ年間には豫試に二回、本試に三回出てゐる。即ち大正昭和二十ヶ年間に六題出てゐるのである。この六題の内メルカトル圖法が三題、ボンヌ圖法が二回、多圓錐圖法が一回である。メル

カトル圖法は最も多くその理論と特色を聞かれる是非共知つて置くべきものである。又ボンヌ圖法は圓錐圖法を改良したものであるから圓錐圖法が次には大切である。

此種の問題の内最近に出た次の問題を一例として解説する。これは昭和二年度に提出されたもので實際に經緯線を引くのであるから隨分受験者が悩んだらしい。

### 問題

次の條件を備へボンヌ式投影法を以て經緯線を描くべし。

- (一) 日本全國を包含する地域
- (一) 全經緯線を五度づゝに描くこと
- (一) 中央緯線の描く圓の半徑 7612 km
- (一) 經線上一度の弧の長さ 111 km
- (一) 經度一度に對する弧の長さ

55° N	63,997 km
50°	71,699
45°	78,850
40°	85,398
35°	91,292



30°	96,490
25°	100,954
20°	104,651

## (一) 縮尺五千萬分一

〔解〕 (一) 中央緯線の描寫——これは單圓錐圖法の場合と同様で、今の場合北緯四〇度を中央緯線とすれば、これが七六一二籽の半徑をもつた圓であるが、これは實際の地球がこれだけの大きさなのであつて、縮尺五千萬分の一であるから、この縮尺とすればどれだけの半徑を以てコンパスで描けばよいかといふと

$$7612 \text{ km} + 50,000,000 = 15,224 \text{ cm}$$

であるから一五・二二四籽の半徑で描いた圓弧は五千萬分の一で描いた北緯四〇度といふ事になる。これより先に中央經線となるべき直線を南北に引いて置いてこの北端に近い所を頂點として、以上述べた緯線を引くのである。

(二) 各緯線の描法——今度は北緯四五度の緯線を描いて見る。これも單圓錐圖法と同様にする。即ちX點を同じく中心とする圓弧であるが、その半徑は、先づ北緯四〇度と四五度との實際の距離を見る事が必要である。所が經線上一度の弧の長さは一一一籽であり、五度北へ移るならば

$$111 \text{ km} \times 5 = 555 \text{ km}$$

五五五籽離れてゐる事になる。所で縮尺五千萬分の一であるからこの距離は地圖の上では

$$555 \text{ km} + 50,000,000 = 1.11 \text{ cm}$$

だけ北にあるわけであるから、北緯四五度の緯線を描くための半徑は

$$15,224 \text{ cm} - 1.11 \text{ cm} = 14,114 \text{ cm}$$

である。

同様にして北緯五〇度の緯線は半徑一三・〇〇四籽となる。

$$111 \text{ km} \times (50 - 40) = 1110 \text{ km}$$

$$1110 \text{ km} + 50,000,000 = 2,22 \text{ cm}$$

$$15,224 - 2,22 = 13,0004 \text{ cm}$$

或は又簡單に

$$14,114 \text{ cm} - 1.11 \text{ cm} = 13,004 \text{ cm}$$

又北緯三五度の緯線は半徑

$$15,224 \text{ cm} + 1.11 \text{ cm} = 16,334 \text{ cm}$$

で描く。三〇度はこれに更に一・一一籽加へた一七・四四四籽を半徑とし、二五度は一八・



五五四種、二〇度は一九・六六四種を半径として圓弧の一部を描く。こゝに於て北は千島樺太から南は臺灣の南岬までに互る地域の五千萬分の一ポヌヌ式圖法の緯線が完全に引かれたのである。(第二十四圖参照)

(三)各經線の描法—次には各經線を描く。ポヌヌ圖法と單圓錐圖法との差異は經線の描法にある。但し中央經線だけは直線であるから單圓錐圖法と同様である。今便利のため中央經線は中央標準時の原線である東經一三五度をとる。

次に中央經線の西隣である東經一三〇度の經線を引かんがためには次の如くする。一三五度と一三〇度の間の距離は赤道に於て最大であり、極に於て零で、その中間に於ては緯度が高くなるに従つて順次その幅が狭くなるのである。此の數字は條件の所に擧げられてゐる。北緯五五度で經度一度に對する緯線の長さは六三・九九七であるから、經度五度離れる事は實際の距離が

$$63.997 \text{ km} \times 5 = 319.985 \text{ km}$$

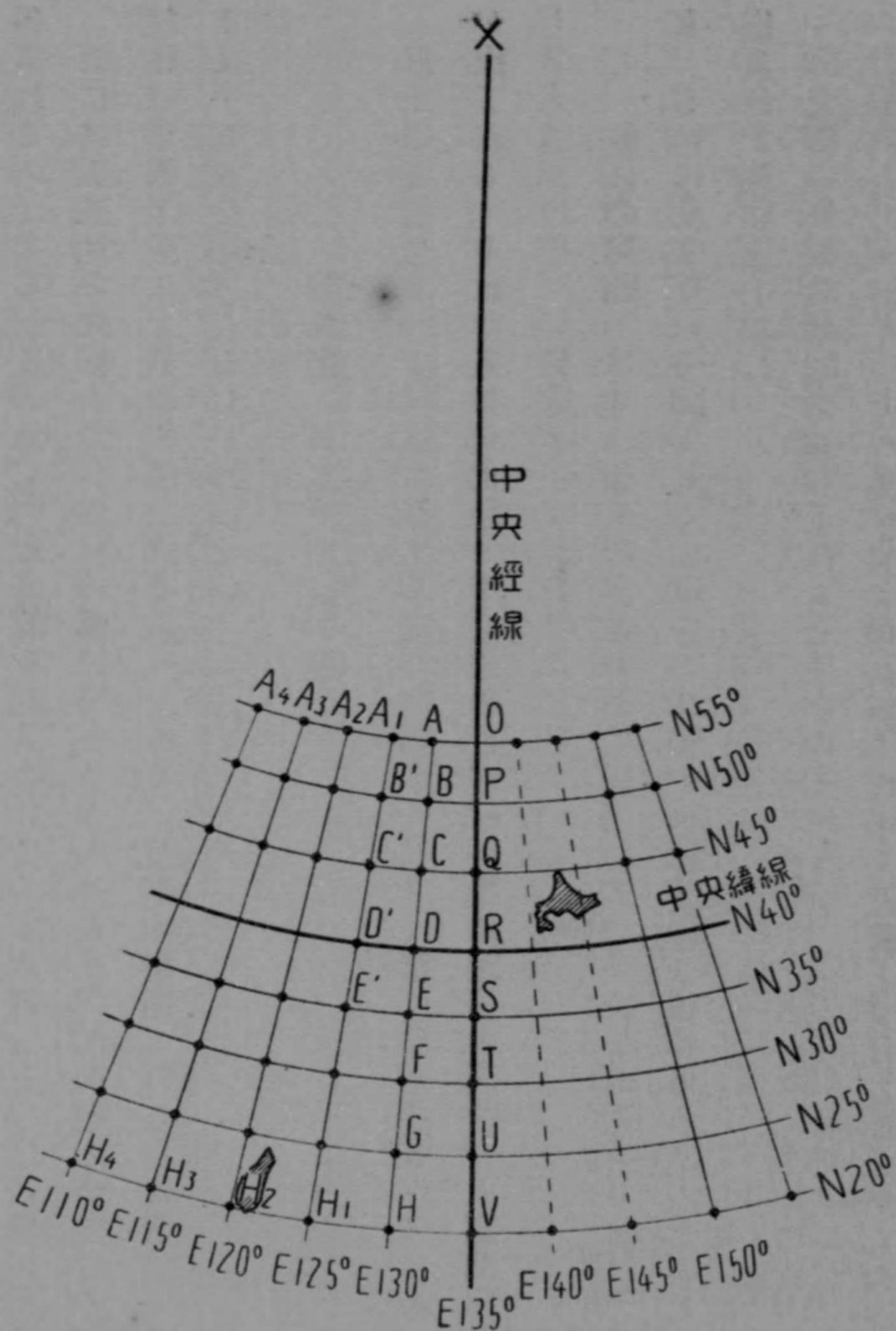
即ち三一九・九八五籽離れる事になる。こゝでは縮尺五千萬分の一であるから地圖上で離れる距離は

$$319.985 \text{ km} \div 5,000,000 = 0.63997 \text{ cm}$$

だけ離れるのである。即ち緯線五五度の線上に中央經線と交はる點Oから西へ〇・六三

九九七種だけ離れた點Aに記をつける。

次には五〇度の緯線上に記をつける。これはP點から



第二十四圖 ポヌヌ圖法によつて日本全體を含む地域の經緯線描法



$$71,699 \text{ km} \times 5 + 50,000,000 = 0,71699 \text{ cm}$$

離れた點Bを得る。又四五度の緯線上ではC點を得、かくしてD、E、F、G、Hの各點が得られるのである。このA、B、C各點を結ぶ事によつて東經一三〇度の線が得られる。次には五五度の經線上ではAOの弧に等しくAA<sub>1</sub>をとり、A<sub>1</sub>A<sub>2</sub>をとつて行く。此等の經線は單圓錐圖法と異つて弧を描くものである。日本の範圍であるから西は一五度迄東は一五五度迄をしるしすればよい。

#### 第九節 其他の問題

以上の記述によつて試験に數多く出る問題の一通りは終つた。此等以外にもまだ問題が出てゐる。それは氣候の問題、天文學の問題、生物地理學の問題、人類地理學（主として人種地理學）の問題、交通地理學の問題である。

一、**氣候の問題**—は地誌學及經濟地理學の研究によつて大部分研究されるものであり、これに地文學の一部としての氣候地理學を攻究すれば事は足りるのである。曾て提出された問題としては

- (1) 支那の氣候を詳説し且つこれと農業との關係を述べよ(昭三、四九回、予)
- (2) 北アメリカ洲とヨーロッパ洲との氣候を比較せよ(昭四、五一回、予)

の二題が昭和になつて出てゐる。此等は拙著の世界地誌で充分に解説がつく事である。

二、**天文學の問題**—は地理學ではないから純粹の天文學が提出される事はない。昭和となつては一回も出ないから殆んど必要は認めないが、たゞ地球の形狀などといふ數理地理學の方面は多少參考書を見て置く必要がある。

三、**生物地理學の問題**—昭和三年の問題(豫)として唯一回「舊大陸の動物區につきて説述せよ」といふのが出た。これも大して必要を認めないが、地誌學を研究してゐる間に修得される知識及び中等學校の地理通論で學ぶ知識で充分である。

四、**人種地理學**—これは相當に大事であるが、これも地誌學の研究によつて得られる知識を綜合する事によつて生み出される筈である。例へば「スラブ民族の分布について記せ」と云ふ如き種類である。

五、**交通地理學**—これも前同様に地誌學で修得されたものをその場合に組合せる事であり。

#### 第十節 口述試験の問題

##### 口述試験の實際問題

今左に最近三ヶ年間に出了口述試験の實際に出た問題を掲げ、これを分析し綜合して



口述試験受験準備について一言する。

昭和三年度(四九回)口述試験問題

第一日

- 一、麵麩殻状火山弾及び石灰華を示し、夫等の性質及び成因を説明せしむ。
- 二、大西洋の深度圖に依つて測深の方法、海底の形狀竝に大西洋下の地殻の性質等に關する説明を求む。
- 三、バルカン半島の地形圖を示し、その人文地理殊に政治地理を説明せしむ。
- 四、陸地測量部發行五萬分の一地形圖、赤穂圖幅及び伊那谷を示し、扇狀地、段丘、街道、居住、生産等について説明せしむ。
- 五、地球儀を與へ、東京ロンドン間の最短距離を料を以て測定せしむ。

第二日

- 一、水磨されたる圓礫を示し、礫層と地形との關係に就きて説明せしむ。
- 二、寫眞測量による地形圖と寫眞とを對照して、高山地形の測量法及び圖示法を説明せしむ。
- 三、バルカン半島の地質圖を示し、その自然地理及び産業地理を説明せしめ、更に政治地理に及ぶ。

四、陸地測量部發行五萬分の一地形圖長野圖幅を示し、堆積狀態、生産地等に就き説明せしむ。

五、地球儀を與へ横濱より東北に向つて進行する船の航路を地球儀上に畫かしめ、その航路の特色に就いて説明せしむ。

昭和四年度(五一回)口述試験問題

第一日

- 一、紅土の標本を示し、其の分布を説明せよ。
- 二、陸地測量部發行五萬分の一地形圖石動圖幅を示し、地理的景觀を説明せしむ。
- 三、アフリカの地圖を示し、同大陸の自然及び人文地理を説明せしむ。
- 四、陸測五萬分の一地形圖油木、親見兩圖幅を示し、圖上に現はれたる人文景觀を説明せしめ、兼ねてそれと地形との關係に及ばしむ。
- 五、鐵、石炭、石油、棉花等の世界産出のグラフを與へて、之が産出曲線の動態に就いて説明せしむ。

第二日

ヨーロッパの掛圖を示し、主要炭田に就き自然地理的又人文地理的に説明せしむ。

昭和五年度(五三回)口述試験問題



## 第一日

- 一、陸測五萬分一地形圖九十九里濱沿岸數葉を示し、九十九里濱沿岸平野の自然的説明及其の成因と聚落發達の關係を説明せしむ。
- 二、四百萬分一東印度諸島の地圖を示し、地質構造及び陸上竝に海底地形を説明せしむ。
- 三、世界の人口密度と工業分布圖とを示し、人口稠密地帯と工業地帯との關係及び各工業地帯の特異性を説述せしむ。
- 四、五萬分一地形圖那智、串本兩圖幅を示し、田、畑、漁港等につき人文地理的考察をなさしむ。
- 五、メルカトル圖法による世界圖と地球儀とを示し、同圖の特異竝に其の利用法とを説明せしむ。

## 第二日

文部省發行掛圖關東地方を利用して、關東地方に於ける産業と地形との關係につきて模擬教授をなさしむ。

以上の如き問題であるからすべて筆記試験に全力を傾注すれば口述試験に對しても心配する事はない。以前は第一日と第二日と別けて第一日の者は第二日に受験せずに済ん

だのであるが近頃は第一日と第二日と二日間受験するわけである。一度に豫備試験からパスすれば受験料七圓で豫備、本試、口述二回都合四回受験出来るわけである。

## 口述の實際と注意

口述試験は地圖又は標本を示されるのであるが、最も大事なものは地圖をよく見る事である。地圖がよく読めればそれで充分である。器械器具等も昔は澤山に出たのであるが、今では出なくなつた。口述試験はその人物を調べる事も含まれてゐるし、又學者と數分なりとも接して合格後の研究方法について暗示を受けるための口述でもあるから、自分の力をためられると同時に教を乞ふ事も見通してはならない。知らない事を獨斷で言ひまくるのは學者的態度でない。知つてゐる事でもそれが書物の中繼であるならば、その著者の名を透して、誰々はこの様に云つてゐる。又誰々の説ではかうであるが、他の誰々はこれにかゝる理由で反對してゐる。然し自分としてはこう説明したい。といふ様に答へる事である。

陸地測量部の五萬分一か二萬五千分の一又は二十萬分の一帝國圖かは必ず出る事になつてゐるから参考書又は雜誌の記事を透して口述前に圖の読み方を練習して置く事はどうしても必要である。又この練習は既に合格した者の指導を仰ぐ事や中等學校の地理教室を尋ねて、このやうな地圖の指導を仰ぐ事が必要である。一面識もない者であつても



それ等の人々は指導を快諾して下れるであらう。もし快諾しない様なものであるならばその指導者は指導者として相應しくない者であるから、直ちに辭して他に向ふべきである。概して文檢受験者は遠慮勝のものが多し。こんな事に遠慮してゐる間はパスしないと心得る事である。再び言ふ。口述は決して心配する必要はない。目的に向つて進むためには、先づ豫備試験の筆記にパスするといふ目標への突進が肝要である。而して又これが全部である。

— 終 —

## 附 録

- 一、最近合格者の實際受験記
- 二、出さうな重要模擬問題集
- 三、中等教員檢定試験受験案内
- 四、最近施行豫備本試験問題集



# 一、最近合格者の實際受験記

## 文檢第五十三回地理科合格までの赤裸々

附言 以下の受験記は菊池君の偽ない合格までの赤裸々である。この體驗記によつて讀者が益する所は多大であると思ふから菊池君の送られた原文のままここに記した。菊池君は秋田縣横手盆地内の某小學校に奉職してゐる篤學の士であることをここに附言する。(著者)

菊池 喜 榮 治

### 一、はしがき

私は大正十四年師範を出て、卒業後六年目廿五も暮れんとする昭和五年十二月廿日、漸く合格さして戴いたものです。世の多くの人々の如く現在自分が廿歳、廿二三歳であるとしたならば、進んで受験記を書く氣にもなつてゐただらうに！。然し考へて見るに合格さして戴く事の出來た氣合は、全く香川先生から頂戴したものである事を思ふ時、如何しても書かずには居れなかつたのです。

### 二、文檢に志した動機

如何せ文檢などを受ける奴は『短氣者にきまつてゐる』この言葉は他の受験者ならいざ知らず、少くとも私にとつては、實に肺腑をえぐられるの感がします。其の概略は、優良な訓導!! 是れを一生涯の目標に生きんと在學時代から心掛け、卒業後滿二ヶ年、夜は九時まで明日明後日の仕事に追はれつゝ、猛進した。其の結果年末賞學金割増の榮に浴する事を得たのであつた。

然し自分は考へた。卒業したばかりの平教員が活動の尖端に立たねばならぬ自分の學校、否、否、全職員的全姿を見詰めて、色々あせつた。如何する事も出來ぬ環境！ 最早此の時短氣と、生れつき好きだつた地理とが渾然と



して一體となり、初任校をば足を洗ふ事になつたのである。以上を名づけて優良訓導時代とでもしませうか。

### 三、立つまで

以上の理由で轉任はして見たが、そこに大なる悩みに出會つたのである。それは體一つしかない自分が、自分の職務と地理への二兎へは、全力を注ぎ得なかつたのである。さればとて職務への全力主義も、情性の然らしむる所、投げ出し得べくもない。

『けれども君。君の受持學級は高一、二の複式だぞ。一學級をさへ蟹はコラだけとは言へなし得なかつた君ではないか。須く職務への全力主義は止し給へ。君の此の學校に來た理由は奈邊にあつたんだ。學級全體から見ても中位の經營で、後は地理へ地理へ』の聲は或夜何處からとなく聞えて來たのだつた。僕は敢然として立つた。これから所謂目茶苦茶勉強時代になるのである。

### 四、目茶苦茶勉強時代

#### 一、暴虎彪河

恥かしいと言ふ心から、指導者を得や、としなかつた自分は、地理と名のつく本は全部読み、知つて居ねばならぬと考へた。殊に厚くて高い本は何でも買ふ。そして讀む。目茶苦茶にノートした。目茶苦茶に暗記した。此の流儀にかけた本を冷汗の出る話ですが、二三申しますと、

- 地理學通論 三村 信 男 著
- 人文地理學通論 同 横山 又次 郎 著
- 天文學講話 同
- 海洋學講話 同
- 地質學要攬 同
- 氣界地學講話 同
- 人文地理學解説 同 工藤 暢 須 著

#### 人文地理學解説

○地文學精義

實驗を主としたる自然地理概論

同 高橋 純 一 著  
石原 初太郎 著

等です。優良訓導時代に幾らか見て居つた本には○をつけませう。地理眼のなかつた悲しさ大なる廣告につり込まれ、人文地理學通論三村信男著を中心になすべきであらうと、念入りにノートを作り上げたものでした。

何故私は諸兄から見て重要でなさそうな本まで丁寧に羅列したかと言ふに、目まぐるしき程に進みつゝある地理學につれ、雨後の筍の如く群出する参考書を如何なる態度に於て中心書を決定すべきか、地理的眼識のない者に重大な影響をもたらすものではないかと言ふ老婆心からです。

かくして數ヶ月。問題を幾ら見ても十の中一つか二つしか解けない。溜息の次に私は次の事を考へた。それは必ずや他に重要な本があるに違ひない。若しさうであつたら引籠り主義では駄目なんだ。

よし、進め!!

の號令と共にH先生へと走つた。結果大正十一年發刊の地形學の存在を知つたのである。時將に昭和二年の夏。

#### 二、地形學へ

かくして無謀にも地形學へと切り込んだ、目茶苦茶に讀んだ。然し切れる筈がない。グラーパーン、ホルストさへも、否、否、地理學的輪廻さへ知らなかつたなまくらの刀では。然し意氣は益々上る。遂にノートにかかつた。讀む。讀む。然し纏める事が出来ない。よしそれではそのまゝでよいから書け。

朝五時より六時半まで、午後は三時から六時まで、七時から十二時、時に一時まで、一日九時間乃至十時間は出勤しながら三ヶ月間續けたのである。地形學最後の行を書き終つた日、それは忘れもしない父の一回忌。けれどもそれは單に三ヶ月かゝつて、非大な落書が出来たと言ふまでのことだつた。其の證據に其の一部を取出して見ても、何んだか見當がつかないのです。然し何回も讀み書くことに依つて、熟語の存在だけ位は知つたものでしたらう。

僕の地形學の根本義を掴み得たのはこれからです。夏、立正大學、教育地理歴史協會、帝國教育會の講習に出て講習の重要さを知り、地形學の重要さを知つた自分は、第一回奈良地理講習の廣告を見ては泣かされました。その時數と言ひ題目と言ひ。



僕としては全く期待以上の收穫を得て歸つた。殊に香川先生地形學原論の親たるプリント一巻を手にして驚喜し、そして猿澤の邊に割當てられた宿に友と火鉢を圍みつゝ、讀み飽くことを知らなかつたのである。二巻を、三巻を、五巻まで待つ事が實にくすぐつたい程であつた。

かくして地形學、プリント、自分のノート、小川先生の日本地圖帳、五萬、二十萬の地圖、オックスフォードのアトラスを合はせて更に新らしきノートを作つたのである。

其間、ダイアグラム略圖、熟語は原語にて間斷なく藥半紙に四Bで練習したのである。このことは後にも書きますが、勉強に飽きたとき亂書された藥半紙を繰り、次第に巧みになりつゝ、あるを見るのが唯一の楽しみだつたのです。やがて相當自信もつて來たので、第一回の目次を見て内容への練習をやつた。其の時のまどろさ實に半月を費したのである。第二回は十日、第三回は、第四回は、そして遂に一日七八時間にて目次を通し、内容は勿論、ダイアグラムまでも頭中に於て目配りし得る事が出来る様になつたのでした。(これはずつと後のこと)

### 三、受験記を讀んで

此頃床に入つてから、遠く蛙の鳴く音を聞きつゝ、受験記を讀んだのです。そして弛んだ氣を勵まされました。そして焦る氣が落付かされ、そして受験者の頭の良さに驚かされ、そして自分の鈍なるに呻きました。そして悲觀し知らず知らず眠りに入つた事幾度でせうか。やがて次の事を悟つたのです。

『或本を合格者が五回で理解し得るものを、俺は九回でイコールになれるとするならば、十回讀み十一回讀むことによつて、彼等より以上の力を得ることになるではないか。』

何が悲觀だ。

讀むにある！ 精讀だ。ノートせよ！

略圖は書け。ダイアグラムを練習せよ。地圖を見よ！』

然し、受験記を幾ら讀んでも地形學を二十回、三十回讀んで支配し得る程度になつたと書いてはあるが、其のマスターするに至つたまでの道の程のなかつたのに、不思議でたまりませんでした。

### 四、地形學以外は

地形學以外の自然地理、人文地理、地誌については、受験記により受験者が取揃へたと言ふものは全部揃へて讀まうと覺悟した。田舎の悲しさ、さうなると總べてを自分のものにしなければならぬのである。五十圓の俸給八割までは注ぎ込んだ。時に家から、時に親類から、幾度となく無心をしました。

殊に其の頃撞頭し出した古今書院から出る地理に關する本には是非一回は目を通す主義を持続したのである。

其の頃地形學一冊で合格したと言ふ受験者の多いのに刺戟され受験する氣になつたのでした。

そうなつては忙しい。

求めているものを手當り次第丸呑みにかかつた。

當時の状況についてはこれ以上述べません。

長くもなつたし、目茶苦茶時代は次の下宿屋の記載によつて止めませう。

### 五、下宿屋

教員が尻を放つても、全村へ響く田舎で、下宿など一つの厄介の種である。

一日四里も自轉車を飛ばしては能率が上がらぬ。内情を語り、下宿の世話を友人に頼んだ。

荷も運び、第一夜を送るべく行つた。ところがなんだ。一人しか居ないと言ふ子供が、三人に化けて居る。

契約後數日にして、子供が二人も増加するとは、現代の科學では證明出來まい。まさか或學校の入學試験に、石炭よりアルコールを取る法なきやの問題に、石炭を賣り、アルコールを買つて來るとの答案あつたとか。

まさか一人を賣り、三人を買つたんでもあるまい。

次の日早速談判したら

「うん」そうであつたか。煙草は天井に輪をなすのみ。俺もあつさりしたものだ。

「うん」と返事してやつた。

飯を食ひに行くだけ、後は學校を借りることに決めた。

自分の教室は夜學に使用される關係から電燈がある。幸ひと立籠る。蚊の出盛りでも、四五匹の襲來位で済み、もつて來いであつた。

然し困つたことには、蚤である。子供等が蚤を床板に養成して居るのだ。それが夜の静けさを機に、私を目がけ



てやつて来る。始めは全く窮した。如何にすればよいかと。

然し天なる哉だ。理法の発見。それは和服を尻まくり、太股を出してゐることだ。蚤の跳躍は計算によると、自己の身長は何倍と、既に計算されて居る。彼等は何れも下肢の何處かを、貯炭所(Coal Station)否、洋上のオアシスとせざれば上半身に上ること不可能である。時にひねり潰すも、又となき愉快であつた。

然し数分にして十匹に近い猛襲には退却を餘儀なくされた場合もある。  
此の間、昭和三年度應試落第

### 五、暗記時代

#### 一、捲土重來

第一回應試により、反省したことは次の三つでした。

- 1 試験場で知つて居る問題にさへ、何から何んと書いてよいか困つたこと。
- 2 知識の不確實な事。
- 3 問題に對して知識の貧弱なこと。……殊に地誌が。

然し一戦した跡は實に愉快であつた。

もう三度受けて取れなかつたら僕は斷然止さうと數學の友達に誓つた。

そこで矢鱈讀みを始めた。

勿論新舊を問はず、無茶に買つた。

かくして地誌への猛運動を開始したのである。

#### 二、地誌へ

山崎先生の中等新制世界地理、日本地理の精讀、小林先生の地理精義は、一冊に十五日もかかり、中等學校生徒の參考などを念入りに見てから過去數ヶ年の問題に當つても、びつたりと出て來ない。如何にかして、評論や地理教育などに出て來る地誌の論文及委員の講習の時に話される様な内容に類似のものが欲しいものだと悩み續けたこととせう。高師在校生なり、卒業生なりより、ノートを借りたいと思つてもそれも出來ぬ身だ。

結局世界地誌は奥田先生の世界重要問題解説と、上述のものを參考とし、教科書で纏め、あきらめなければならなかつた。

日本地誌……これには世界地誌以上に參つた。工藤氏の日本地形概説と、地理精義でノートにかゝつて見た。一ヶ月たつても、關東地方さえ出來ぬ。然も其の概説とやらも、何時完結するものか？

これでは俺の文檢も、概説と心中だ。

ともに、ともに精しい。どつちが精しいか。

最後に、精義ならまだしも、概説の概にも似つかぬ本だと、ノートと共に本棚の隅に放り出したのが、まだ其儘になつてゐる。

僕の此等の本の存在に對して、餘りに期待をかけたことを悔ひた。

そこで關係ある論文や通論から拾つて教科書に記入もして見た。

斯うした煩えから逃れ、晴々しく地誌の本義をつかみ得、教壇上に立つても大丈夫だと思ふ様になつたのは、更に田中先生の中等日本地理、外國地理、我等の國土、香川先生の概観世界地誌二卷を精讀し、香川先生、長井先生から、又山本先生からの御教訓を得て、地理的眼識養成時代を經、批評眼時代に入つてからの事である。

#### 三、暗記には

語記は地理眼に照らして最小限度に止めること以外の短路はあるまい。故に眼を養成してからかゝるべきでせうが、僕は今迄述べて來た様な過去であつたが故に、そんな要領を得た語記法しやなかつたのです。

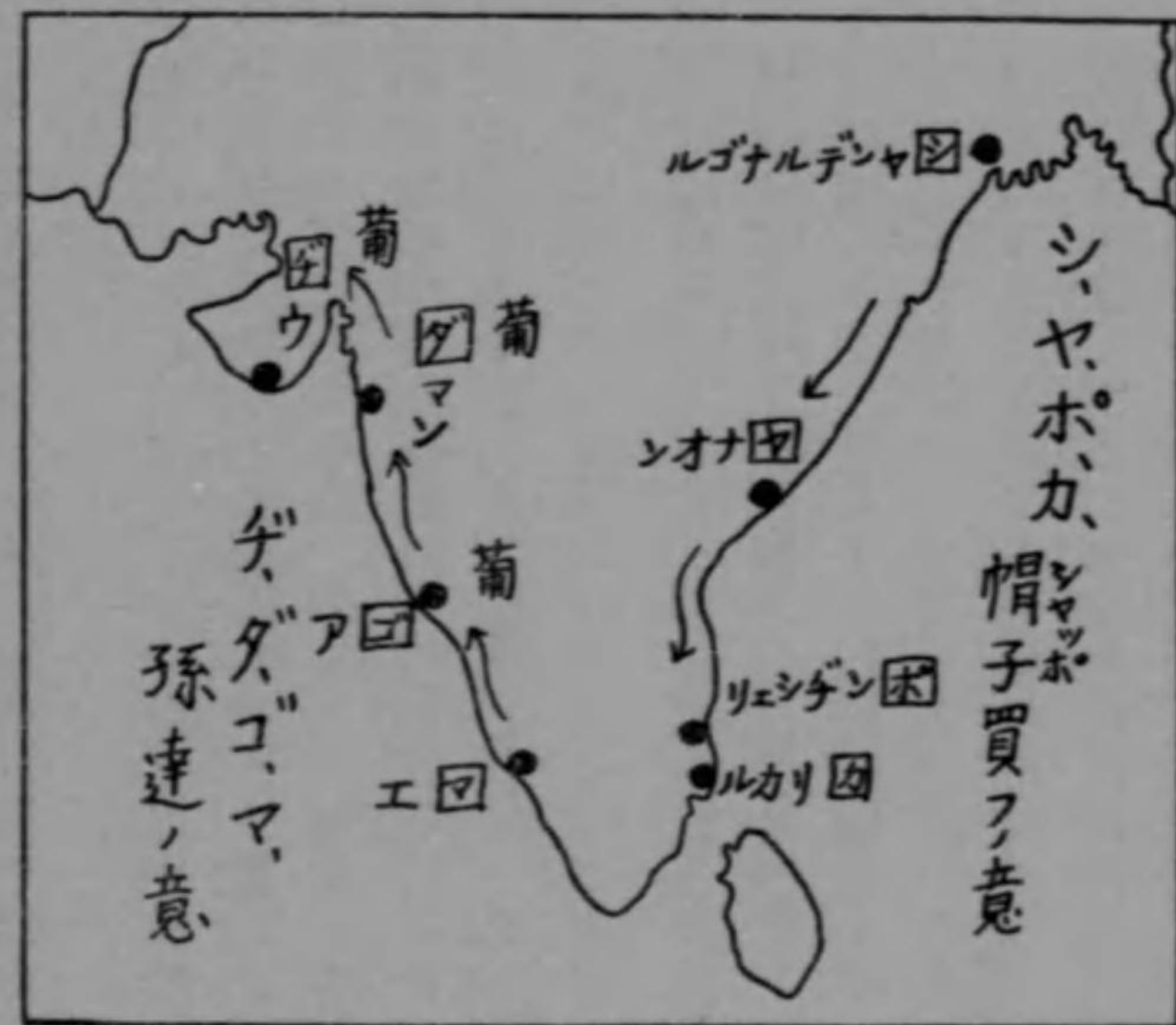
生來鈍愚な僕は、そも／＼語記に關係ある全感覺を通すにありべきと、即ち目で見、口では音に現はし、耳に聞き、然して手で書いたのです。この四つを交互に、四年間練習したのです。そして研究會に、研究授業に、教育會に、機會ある毎に地理で押し通した。

S先生を主體にする、同志の會合を作り、盛んに發表し合つた。かく經驗する中に、暗記に困難を來す點が判然となり、間違ひを起し易い部面が明瞭になつて來た。そこで此等のために特にな暗記方法を誰れもが作る如く、作つたのです。その一例を述べて見ますと、

アフリカ地溝帯の湖沼名と位置關係は、北より南にア、エ、キ、タ、と口ずさむで常に、此の順で出て來る様に習慣



づけ、そして記入の場合はアルパート湖、エドワード湖、キビユー湖、タンガイカ湖、としたのです。又スエズ運河の四つの湖をば、メ、バ、チ、ビ、と習慣づけ、印度の佛領、蘭領なども、シヤボカ、帽子を買つて来るの意味にする、マゴダヂ、(孫達ち)、など、とし、バルト海沿岸の新興せる



る、マゴダヂ、(孫達ち)、など、とし、バルト海沿岸の新興せる三つの國をば、北よりエラリ(偉い)としたのです。バナマ運河に於てコロンと、バナマの位置を間違へて氣を腐らして居ましたが一方の位置さへ正確に知つて居れば、即ち太平洋側にバナマのあることを知つてさへ居れば、他の一つ即ち大西洋側のコロンは自然に出て来るべきである。徒に二つを知らうとする所に、不確實さを醸すのだと知つてから、これに類似したことなどは殆んど間違つたことではありません。ウルグアイ、パラグアイ、及ロツテルダム、アムステルダム、なども同様です。更に量的な記載は答案を價值付ける一方法と思ひ、四捨五入的な概略数を年代と共に表を作り、比較對照してやりました。

四、藥半紙と四 B

四つの感覺を通すうち、書くこと程記憶を助けるものはあるまい。

通りを経験した。その中でも藥半紙と四 B のお世話になつたことは、五六千枚の表裏が反古になつたのを、持つてゐることに依つても解ること、思ひます。

何故私は藥半紙に四 B を使ひ出したか、私が勉強し出した頃は何人でも讀むだらうとすることを實行したのですが、時間がかつて仕様がなない。又地理眼のない自分が信用の置きさうもない本を、ノートしても高師生のそれになる迄は、何回も書き換えねばならぬ。つまらない。高師生同様な眼を持てる様になつてから、文獻を参考に丁寧に蒐集するのが一番だ。それ迄は讀み次第讀んだ本の上に記入して行つた方がよい。そして四五冊試みた。

然し氣に喰はぬ。より最短のものはないでせうか。

そんな頭の折に香川先生の地理科文檢の最短路で藥半紙と四 B で書くことの好都合なるを見た。圖畫の時以外使つたことがない自分は疑つた。四 B では折れはしまいか？ そして經費は嵩みはしまいかと。全くその通に日に四、五本も使つた、否、折つた。

然し品質の良い鉛筆を選ぶことによつて、完全のものが得たのだつた。一打で日に二十枚以上の表裏に書いてきえ一ヶ月以上も保てるのだ。そして本を讀みつゝ、意の儘に、地形圖に分布圖にダイアグラムに書きつけた。

五、略圖ダイアグラム練習

地理は圖化にある。

難解な本と雖も圖化することに依つて容易に理解される。又美しい圖を添えることによつて答案もある品位を具へることになり、教授に圖なき程殺風景なものはいはしまし。實に與へられた地圖を任意の大きさに無造作に書き得たいものとは藥半紙と四 B 使用以前からの宿題だつた。現在は香川先生のおつしやられる如く、一分間に、世界地圖を書く位になつてゐますが、かくなつた過程を簡單に書きませう。

- 1 地圖を見て白紙に練習したが、元來無器用な自分は如何も書けなかつた。
  - 2 経緯度の入つたのを騰寫してそれに間違なく入れて見た。その結果は特徴を掴むことが出来た。
  - 3 地圖に日本紙を置いて寫した。これが特徴を掴むに大變役に立つた氣がする。
  - 4 地理文檢の最短路を讀んで要點を練習した。(今なら香川先生著の略地圖描法が良い) 相當自身がついた。
  - 5 直接香川先生から指導を戴いた。秋田温泉で一晩見て貰つた。充分自信があるつもりだつたのに、投げ出させられこれでは駄目だとのこと、すつかり悲觀したが、更に自信を生んだ。
- あやしげなる手つきで、生徒も頷きかねるあやしげなる地圖を、板書しなければならなかつた自分の、時に拙く出来るにせよ、思ひ切り良く左上から自在に一輻の圖を、書き得る様になつた過程を御批判の上適當の方法をとられんことを望みます。

六、地理的眼識養成時代



## 一、大橋先生から

質問をしますとこゝしながら、徹底するまで御指導して下さい。御講演のあつた度毎どんなにか的外れな質問を連發したことでせう。そして何時も正しい見方を戴いたことでせうか。

殊にフィールドに於て奥羽山脈に入り地質圖の作り方を指導されました時など涙そのものです。クリノメーター一つで海底火山の發見をした時を回顧し、最近英文の簡單なる地理書を戴いたことなどを思ひ合はするに、先生への御恩を返さずには置かれるものかと思つて居ます。

## 二、香川先生からの最初の御指導

先生からの直接の御指導とは昭和四年の夏秋田地理講習會を機とするのです。

## 最初の御指導

昭和四年八月秋田地理學會夏季講習會講師として香川先生を迎へた。先生は島根地理學會で八月三日から七日迄講義をされ、これがすむや否や日本海岸を北上して我が秋田へ向はれるのである。所が秋田では九日夜又は十日朝に講義といふ事になつてゐる。然るに先生の列車が親不知附近で故障、海上三津の舟連絡。ために秋田へは四時間延着。土崎着十日午前一時といふ長岡發先生の電文を見る。私は奈良講習會で先生を知つてゐたの故を以て土崎で先生をまつ。遂にあやまつて迎ひに出された私が土崎で寝ぼける。宿で一寸の睡眠中、青森行、午前一時の直行で下車した先生は單身男鹿脇本迄十里、闇をついて直ちに自動車を驅つて走り會場より山道半里手前で乗捨て、新月の暗さもいとはず、會場へ着いたのは午前三時とか。六時から十時迄講義。その日寒風山へ登る(大橋先生御指導のもとに)。北陸線急行の不意の災に遭ひつゝも、良く其責任を果された香川先生のスピードには全く敬服の至りです。私への直きくの御指導とは、この忙しき講義の直後からスタートされるのです。秋田から横手まで、先生歸京の急行車中二時間、地理學疑問個所百十一を抜書してあつたノートにより、お聞きしたのです。併し横手驛でお別れしなければならなかつた。同車せる土佐の西兄を羨みつゝ。あとで聞けば西兄は徹宵先生をいぢめたとか。歸つて直に地形學を見た。これには驚いた。躍進と言はずして、何でせう。全くの躍進だ。氣持良く讀めること。そして地形學をノート代用として幾多の圖形を記入した。地形誌も讀んだ要點を抜書した。僅か二時間で實に地形學に對しての眼識を戴いたのである。

政治經濟地理學もノートとした。山崎先生のプリントも精讀した。地誌は上述の如くして。

勿論教科書中心主義で行きました。之は受験者の忘るべからざる金言ではないでせうか。委員の教科書には讀まれよ、而して他のものには如何なるものにも絶対に讀まれるな。讀むべきである。

かくして昭和四年度豫試に應じたが、その時後記の注意書を見ずに始めより横書きしたからたまものか。でなくとも可能性のなかつたものを。これ又見事失敗。

## 三、環境の開拓

落第し悲觀し悶えた自分は、

A 落ちついた勉強の出来ぬこと、

B 平常の行爲の無謀なること、

の二點を見出した。

平常行爲の無謀なこと。

これは私が過去現在未來の文檢受験者に、伏して御謝りしなければならぬ所のものである。何故ならば學校長が報告する僕の性行調査が次の如くであつたのだ。

## 性行

一、生眞面目なれど神經質にして物に激し易き點あり。

二、我執強く人と相容れぬ傾あり。

三、言語動作粗野なる觀あり。

## 習癖

一、身廻り締めくくり乏し。

諸兄よ。此文を讀み終つた時の僕を想像して下さい。優良訓導の末路何んぞ、それ哀れなるでないでせうか。そして此の文を通じて僕を想像して下さい。僕は之に對して一言半句も不服は言はない。文を以て作られた僕の全人格として、拜授すべきと信じたのである。然し時まさに、思想混亂、文部省は苟も上述の如き人格の教師は半人たりとも希むまい。今後は人格修養につとむべきである。



だが。待てよ。來年まで、立派な人格になれるかな。此の疑問がやがて落ちついた生活をしたいの希望と合體して、轉任運動となつたのである。

轉任運動！ 思ひ出すもぞつとする。どんなにS先生に御迷惑をかけたことせう。目指す所へは百度を踏んだ。然し僕が最早や、現代教育家としての要素が缺けて居ることを、知らぬ人々はなかつたのである。そしてこんな者の首を繋いで居つて下さる當校に感謝せずには居られなかつたのです。

幸か不幸か本年は新しき校長のもとに、不完全な人格を矯正すべく努力しつゝあるのです。結果試験は通さして戴きましたが、次に來るべき就職の問題に當り、過去の生活が再燃致すであらうと豫期して居ます。それは當然私への報ひである。

然し文檢を受ける者は皆僕のような奴等のみだ。と言はれるとすれば赤面の到りです。文檢で人格を傷つけた自分は今後の生活に依つて、幾分なりとも取消さして戴きたいものと思つて居ます。

諸兄よ、僕は再び絶叫する。

僕のような生活をして居る人はありはしまいか、又、成らんとしつゝある人はないでせうか。であつたら、須く吾人は文檢人格完成のために、この記事を再讀され、再考されたる行爲を成されんことを望みます。

#### 四、再び御指導を得て

一時悲觀した自分も雜誌類殊に評論に、目を通し政治地理我等の國土を要約しつゝ、靜かに時の來るのを待つ氣になつたのでした。

我等の國土！ よくも田中先生は丁寧な解りやすく、中等日本地理と重なる點もなく、書いて下さつたものです。概觀世界地誌！ よくも香川先生は吾々受験者の總べての點をお考へになり、親切丁寧に書いて下さつたものです。私は此の本を手にした時の氣持は、一生忘れ得ることの出來ぬものです。何故ならば、これで年來の宿望たる地誌を、始めて支配し得たと思つたからです。

小躍りしつゝ、頁を繰り、そして概觀世界地誌上下の不解點六十七ヶ所を持ち、晝は中興館主催の講習に出で、夜は藤澤の香川先生の宅へ奇食し解決して戴いたのです。それは六日泊つたうちほんの最初の一夜のこと。次日からは世界地誌の問題を、みんな先生のもとでかたづけしてしまふと考へた。時は昭和五年の夏季休暇のことである。

「先生、問題を出して下さい。私が解きますから」と言つては、問題を出し、そして直前に於て解答した。

「それだけか君の見方は、なつて居ないぜ。此處ではこんな見方が大事さ。ゆとりがない。こたわつて居る。讀まれてゐるから駄目だ」と、何回となく、教示されたことせう。遂には問題を出して呉れなくなつた、その時は自分が問題を作つて解答を強制的に聞いた。

かくすること六日。世界を一週した。かくして大局に眼が届いてゐない。然して繊細な所に注意が向いてゐないとは教へられた。

そして秋田の講習へ向はねばならぬ日が來たのである。今度は日本地誌を車中でお聞き仕様と思つて、乗車後地圖を開けて直にお願ひした。そして上野から秋田迄、先生を二時間も眠らせたでせうか。遂に先生にあきらまれる。漸く日本地理へのゆとりが出來たのだつた。

それから秋田の講習で不離、四日間の御指導を承つたのです。

### 七、批評眼養成時代

#### 一、與へられた言葉

お別れに當つて數々戴いた御注意の中、最も強く響いたのは

「君は知つてゐることを系統立てることを知らない。各々が切り離されてゐる。本そのまゝの智識で居るから駄目だ。だから、かつて見たことのないのに對しては、働きかける力を失つて終ふのだ。もつと融通のきく頭となれ」「本に讀まれてゐるから駄目なんだ。讀む態度になれ。僕の著書を全部知つてゐたところどうなるんです。つまり新しい見方が大事ですわ」

その後どうした事せう。本を讀む氣になれなかつたのです。然し問題に當つて見ると、馬鹿に系統的に出て來るぢやありませんか。

かくして専念に地圖を見つゝ、問題の練習を熱心にしたのである。

山形師範學校長井先生が檢定合格後、高師で研究生として二ヶ年田中先生のもとで御勉強になつて來たことを小田内先生からお聞きして、是非御指導を戴きたいと考へました。然し八月三十一日の田中先生御講演の時には御多



忙のこととして、お話を承はる譯に参りませんでした。

その後間もなく先生のお宿を尋ねたのは勿論です。問題を戴き試験場に居る氣持で解答に當つたのです。御指導を戴いたのです。そして最後に次の御注意を下さいました。

「君の纏め方はどうも、本に捕はれ過ぎてゐる。そして断定する氣味がある。やはり何處までも讀むと言ふ立場に、立たなければならぬです」

「殊に注意すべきは『である』と、『であるべき』と、『であらう』の區別が判然として居なくては駄目だ。

例へば地誌を述べるに當つて『であるべき』と、言ふべき部分、即ち、學説となつて居るところを『である』など、既に決定せる如く述べたり、普遍妥當な『である』と言ひ得る所をば『であらう』など、答へては見込なしだ」

更に曰く「僕は一ケ年は少くとも問題練習したんだ」

## 二、批評的立場へ

兩先生のおつしやられたことを、私が守らうとするには、どんな態度で進んで行つたらよいでせうか。實に大なる宿題だつたのです。かくして考へた結果批評的な眼識養成に努めるにあるんだと思つたのです。

然し戦ひの日迄一ヶ月、

そこで教科書中心に問題を構成し、解くに當りては、参考書を批評的立場から、早や讀みをしたのです。その意味に於て評論の批評及紹介欄を讀んで居らなかつた所に目を通し、其眼をもつて自分の持つて居る参考書を通讀したのである。又評論の論説及雜録にある事項が問題される傾向のあることから、殊に委員のそれには注意を怠らなかつた。(餘談になりますが、本試験を受けた同僚に評論ノートとして居ると言ふ方があつたが、これは確に有效なること、思ひます。)

## 四、委員の解剖

委員を批評する立場。大變大きなことを言つてしまひましたが、殊に最近問題の傾向は確に御得意の部面から出題されつゝあります。

故に第一問題を見たとき、これは誰先生のであるかを直覺的に判断し、地形學的聚落的に、地理區的に、地人相關に、交替作用的に、政治地理的に、各問毎に、句はし得なかつたら、合格不可能と信じ、二年程前から盛んに

掴まうと努力しました。

萬一その部面から出題されなかつた先生が、二人あつたにせよ、その正體を所謂相關的に看破し、問題を通じて先生の顔を想定し、微笑する迄筆を進める事が、人生の機微に觸れるやり方ではないかと思つたからです。

けれども辻村先生は地形學者で最近聚落に興味を持たれつゝあるなどの類は、誰しも分つてゐることです。もつと深く、そのうちの更に何處を御研究の目標になつてゐるか、如何なる方法でなされつゝあるか、又どんな記載の方法をなすことが得意であるか、まで行かねばならぬと思ひます。

## 八、漸く豫試合格へ

一日前に學校を出た。去年一昨年は一週間も前に出發したのだつたが、そんなに大事を取る氣にもなれなかつた。これも處女ならざる身の當然の歸結だつたでせう。愈々當日同志五人と受けることになつた。

### 一、豫試筆記試験の實際

問題を配られた

- 一、山麓面と準平原との關係を説明せよ。
- 二、信濃川流域につきて説述せよ。
- 三、横濱、バンクーバー間の汽船の航路につきて説述せよ。
- 四、政治地理上より首府を論述せよ。
- 五、商業國としての日、英、米三國を比較論述せよ。
- 六、次の諸項につきて知る所を記せ。

(イ) アダスアベバ Addis Abeba

(ロ) プンタアレナス Punta Arenas

(ハ) キーウエスト Key West

(ニ) コーラ半島 Kola

(ホ) 連山灣



と同時に、僕は神の存在を否定しやうと迄思った。とは何故なれば、地形學ならお得意のつもりだったのに、この問題では、受け様か、受けまいかと悩みつゝ友達とは見れば、既に筆を取つてゐる。よし、それではとにかく戦つて見ると腹をきめた。そして更に問題を通覽し、出題の先生達を次の如く想像して見た。四問は飯本先生ので政治地理そのまゝ、二問田中先生ので山が當つてゐるし、六問は各先生方一問づゝの分擔か、これもよし、五問は佐藤先生のか、飯本先生の政治地理の非自足國家の商業國にあるのだから書けさうだし、三問は内田先生のか、如何にかなるらしい。残念なのは一問、辻村先生のかと思ひながら筆をとりました。解答に當つた順に書いて見ます。本試も同様にします。



中心的位置

四、政治地理上より首府を論述せよ

一、概説 首府は國家の神經中樞であり、今、位置關係、首府の移動、國家と首府との關係の三點より述べて見ます。

二、首府と位置との關係

A 中心的位置、マドリッドの様に國家の中心に位してゐるもの。

B 偏心的位置、ベルリン、パリ、東京(圖示せし

も略す)の如く領域の偏心に當るもの。

C 邊緣的位置、ロンドン、コペンハーゲン等、領域の邊緣にあるもの。

三、首府の移動について。

決して永久的のものではない。文化國に於ける移動は或意味に於て反自然行爲。



邊緣的位置



首府の移動

1 植民地などで最初の位置から、統一の有利より内部に移動したもの、

バルパライソ→サンチャゴ

ケベック→オッタワ

カルカッタ→デリー

リオデジャネーロ→ヤゴス(未來)

2 首府争ひから中位地帯へ

カンベラ、ワシントン

3 移轉により心氣一轉する意味から

ペテログラード→モスコ

北京→南京

京都→東京(圖示せしも略す)

四、國家と首府との關係

1 古代に於て首府即國家時代。

例、バビロン、カルタゴ、

2 首府はまた政治經濟軍事の中心であり、前者に近い關係を有するもの。

例、アテネ、スパルタ、

3 大部分、國防作用、政治經濟の中心が、他に移つた場合。

例、パリ、東京、

4 單なる行政的中心をなす場合。

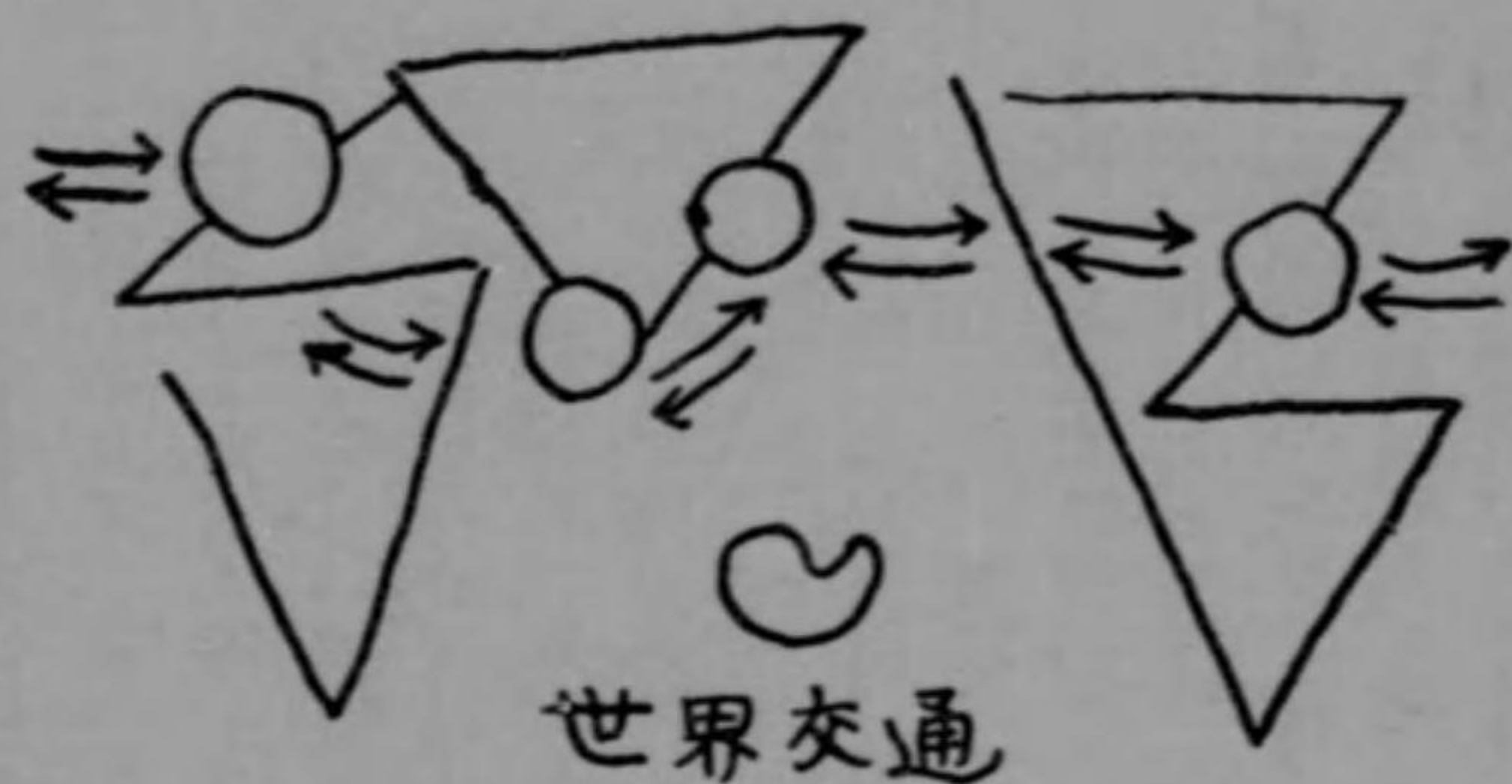
例、ワシントン、カンベラ、

五、横濱、バンクーバー間の汽船の航路につきて説述せよ

一、世界の航路より見ての役割、

現今の世界交通は横にある。其理由は文化のすぐれて居るところ上圖の如く四つあり、これ等は其の策源地と





なつて居るからである。大陸を横ぎつて海に出で、然して海は兩大陸と結ぶ。横濱、バンクーバー間の航路とは、そのうちの、東亞及米大陸間を結ぶ諸航路中、最北端の航路に當る。

二、兩大陸を結ぶ最短路。

兩大陸を結ぶ諸航路中、どんな特長あるかといへばそれは圖に示す如く大圏航路に當り、即ち最短距離である。このことが現代交通よりの本質からして、次の價值を大ならしめてあるものではないでせうか。

三、該航路の價值

交通、經濟、政治、軍事、總ての方面から見て、未來のことに屬する。

1 交通上より見て

冬季は暴れたりするので、航海に良くないとのこと。然し最短路なる故に航路日数は他の北太平洋航路より二日程短かい。

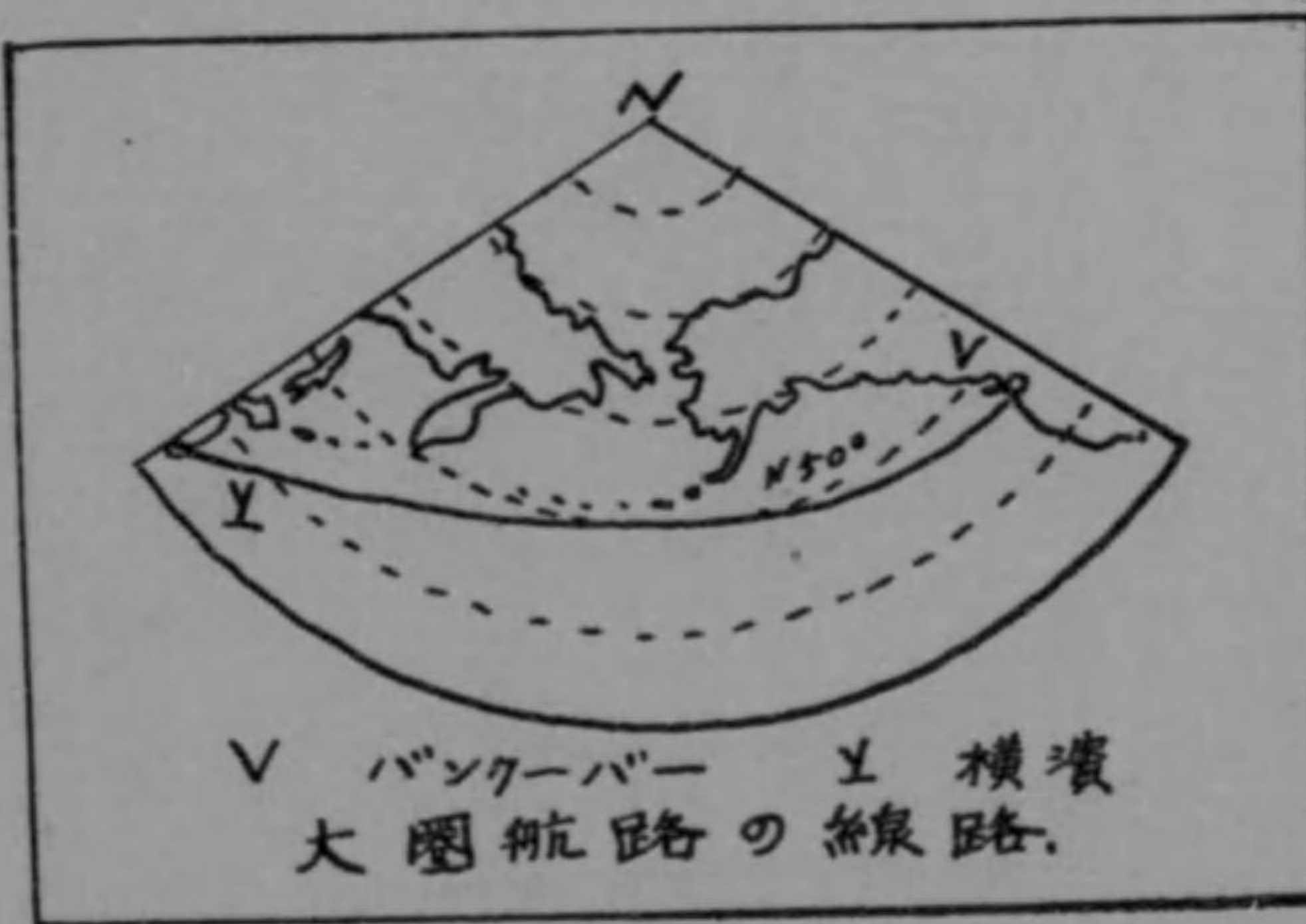
此の航路をも含む北太平洋航路は、世界の船舶噸數より見て五%に過ぎない。

2 經濟上より見て

東行する物質は過去に於て移民、現在は生絲、絹織物、茶、西行するもの、(木材を忘れました)。

3 軍事政治上より見て、

結論に、文化の中心は大西洋より太平洋へと移動するにつれて、最短距離といふハンデキャップを持つてゐる此の航路は交通、經濟、軍事、政治上に重大な役割を演ずること、考へる。



言ひ過ぎるかも知れませんが此の航路を支配するものは、世界を支配する様になれはしないか。とすれば今後に於てこれを中心にして地球線を持つ英、世界を目指しつゝある米、興りつゝある日、との闘争が夢見られるわけである。

二、信濃川流域について論述せよ。

一、概説 本州中最も幅廣き地帯を、最大の長流として流れてゐる信濃川の流域を、自然地理、人文地理的に二つのタイプに分けて、述べて見ます。

二、自然地理

1 地體構造及地形

(イ)最も複雑を極めて居るところ、ナウマンを始めとして多くの學説あり。

(ロ)そして北嶺南嶺の會合所へ、伊豆の弧がつかひ棒となり圖の如くなつたと言つてゐる人も居る。

そしてフォッサマグナを生じ、富士火山帯の活動となり、多くの盆地が出来た。其盆地の大半を縫ふて流れるのが信濃川本支流である。

(ハ)地形的に見て明瞭に中央高地と、裏日本的色彩を持つ越後平野との二つに分たれる。

2 氣候

イ、中央盆地、越後平野より否、全国的に見て寒暑の差大、雨量僅少、晴天多し。



ロ、越後平野、寒暑の差少なし、曇天多い。積雪我國第一なり。

三、信濃川流域の人文地理

1 地誌。要點だけ書きます。





(二) 善光寺平

犀川、千曲川の會合地。

東の扇狀地大きく、養蠶製絲中心地として松代須坂あり。

長野は善光寺に依り全國的の宗教市。(門前町として圖示せるも略す) 林檎の最南端

B北陸地方

1 越後地方

A 中央高地

(イ) 松本平

西に飛騨山脈、犀川の支流多くの扇狀地を作る。

松本は Center

そして大町などと共に、登山の根據地、鹽尻は鐵道以前の鹽の尻、そして鉛市。穂高は山葵。

(ロ) 佐久平

養蠶業盛なり、理由は地理的位置と蛹の利用から。

鹽は大平洋系であつた。

小諸は Center

(ハ) 上田盆地

上田はそのセンター



砂嘴の内側干上りて生ぜる平野。湯残つてゐる。米作専門多し日本一、小作爭議。砂丘に梨。東京で静岡梨と争ふ。石油海中からも出る、製油所は長岡衰へ後の三つ。新潟に水戸教、酒田と似てゐる。長岡、雁木、

2 産業

(イ) 地形氣候よりして明瞭に中央高地と、下越地方の産業に特色を作らしめてゐる。

(ロ) 中央高地は扇狀地水利關係より養蠶全國一で、製絲業地は各盆地の中心地に發達してゐる。麥は積雪不足より飯山まで、多く農作として栽培される。

(ハ) 下越地方は低地水利關係よりして米作行はれ、積雪多きため農作行はれず出稼が多い。石油を産し製油行はれる。

3 交通

(イ) 道路網

縦斷路横斷路によつて結ばれ、多くの峠が其間にある。

(ロ) 鐵道網

最近は自動車により若返りつゝある。道路網と全等ではないが似て居り、殊に上越線の開通により新潟地方は活氣を呈するに至るべし。

(ハ) 水路網

新潟は貿易港なるも殆ど其用をなさず、僅かに裏日本式の港にして近海航路要地をなすのみ。



四、結論

地形的に氣候的に二つに分け得る此地帯を、人文地理的に見て即ち地誌、産業、交通、人口密度よりしても、明らかに二地理區に分け得るのである。

五、商業國としての日英米三國を比較論述せよ。

一、商業國とは

商業國の定義は議論の餘地があること、思ひます。次の世界商業に關係する歩合の大小、國內の經濟的構造の二點を考慮して決定することが出来るかと考へます。

二、商業國の分類

目的によつて色々分類されることとせう。

A 自營的商業國

過剰生産商業國、ロシア、米 補充商業國、英、日、

B 仲介的商業國……和、諸、

三、商業國としての米、の特徴

自營的商業の過剰生産商業國に屬す。即ち自國の剩餘せる生産物を他國に賣りつける立場の國である。故に棉、鐵及製品、麥類、等を輸出し、砂糖、ゴム、生絲等の不生産のもの及不足のものを買ふ。

政治的勢力を擴張しやすい。これが英、日、との相違點である。

四、商業國としての英の特徴

自營的商業國のうち補充商業國に屬することは、日本と同じ。違ふところは經濟構造の上より見た商業従業者のパーセントが大であり商船を世界の三四%も持ち、世界陸地の中心に位し海洋の自由を束縛し、世界商業に關して最大の貢獻を持つてゐるところである。

五、商業國としての日の特徴

分類から言へば米國と異なり、英國と同様だが相違點は新興であり商業従業者のパーセントが小、商船類で世界商業に關しては局小的な活躍をして居るに過ぎぬ點である。

六、次の諸國につき知る所を記せ

(イ) アヂスアベバ Addis Ababa



然しやがて来るべき太平洋の一角に位し、將來を囑望されてゐることが此國の強味である。

緩衝國としてのアビシニヤの首府。熱帯地でありながら二五〇〇米以上の高地なる故に、都會發達高距的に人文景に變化を見る。

類似の地は上圖に。

佛領ヂブチより鐵道。ヂブチを門戸とす。

(ロ) プンタアレナス Punta Arenas マゼラン最初に航海せるマゼラン海峡に望む故に最初は西班牙領(圖示せしも略す)今は獨立した智利國に屬す。

パナマ開通以前はケーブタウン同様世界交通上重要地。

今は老衰、然し南極への捕鯨にて若返る。

南米最南の都市。

(ハ) キーウエスト

フロリダ南端珊瑚礁島

氣候温暖

圖に示す如く米國が政治地理的重要な地。海軍根據地(政治地理五十八圖アメリカ地中海の英米の爭覇戰の略圖を入れてあつたが略す)

(ニ) コーラ半島

古い地塊(アルケードン)

北よりツンドラ、次は森林、湖沼の地

ラップ族住居人口稀薄





そして仕上げるつもりだったのに

- 四番に二十分
- 三番に三十分
- 二番に百三十分
- 五番に二十五分
- 六番に十五分
- 一番に二十分

と言ふ配合になつてしまひました。

四、反省

一番には全くやられた。日本地形誌の最も重要な部分と言はれてゐる山、谷地中の各地形にあつたのを、家へ来て探して見たら評論一卷雑録に出てあつた。然し他の問題については相當自信あるつもりでした。

海へ出口の結果たる世界最北の鐵道ムルマンの鐵道あり

ホ、連山灣  
灣に臨む胡蘆島は、不凍港凍つても大ならず。滿鐵平行線打通線により大連に對抗し發展せんとす。大築港に着手。

背後に何者かあると思はれる。(圖示せしも略す)

一、山麓面と準平原との關係を説明せよ。

日本地形誌「山地形」にありましたが、すつかり忘れて終ひこの問題は失敗しましたからこゝには述べません。

三、時間の配當について

最初は一問四十分何れか一問を三十分にし、残りで通讀、

五、發表まで

歸る車中内容の全部を香川先生に書き送つて、御批評を戴いたら大丈夫だらうから豫試前通りすつと目を配れと言はれたのに、一問に力をなくした自分は、見込なしと思つて遊んだ。殆んど遊んだ。が、萬一合格してゐたらなど、ひよつこり浮んで來る時あつたりするので、日本地形誌の精讀にかゝつたところが精讀し終つたところ

發表!

十月二十六日

九、本試通過

一、筆記まで

豫試直前の氣持ちで、一應目を通すに限る。其後は實習に。私はこの豫定で、プログラムで、スピードを掛けた。然し親戚に祝儀急病の連續、學校には農村の特有なる品評會、何々會、忙しい、暇がない。けれども進んだ。豫定通り進めた。

ところが何んたる悲惨ぞ、戦ひの前に倒れねばならなくなつたのです。扁桃腺炎、四十度に達すること二、三日。身の周圍から本は奪はれる。戦機は刻、刻に迫る。友達からは無理するな來年にする方が體のためよい、と忠告される。幸ひ七日で平熱になり、三日休養、二日學校に出で、五日前の十二月一日の晩トランクに一杯本を詰めて、出發したのである。

途中長井先生によつた。そして又もや前以上の御指導を、大病な母親を持てる立岡さんと共に戴いたので。ほんたうに此一日こそ無智にも等しい讀圖に、全精力を籠め、一大飛躍をした日です。こゝで應試以前の本の無用を説かれ四冊残して全部郷里へ送る。

次日香川先生に寄食し色々實習のこと、其他の御指導を戴き、福島の安田兄と同宿すべく、本郷の下宿を尋ねたのです。そして盛んに山を掛けた。これが後に地圖まで専念に書いた經濟地理と政治地理の問題、三番四番が當つたからたまりません。立籠ること二日、愈々戦ひの日が來た。

二、本試筆記の實際



雨が降る。指差されるまゝに女高師の裏門から曲り曲つて試験場に着く。八時に十分、人々は電燈に照されつゝ、席に着いて居る。自分は一番前だ。知らなかつたら不能として出様と、腹を決めたらどよめく胸も何處へやら。問題が渡された。

- 一、褶曲山脈の分岐に關する諸説を述べよ。
  - 二、神戸市を地理的に説明せよ。
  - 三、ソウエート聯邦の自然景域を説述し併せてそれが同國の統一性に及ぼす影響を論述せよ。
  - 四、經濟地理に於ける經濟形態を説述せよ。
  - 五、航空路に於ける氣候との關係を説明せよ。
- 靜に眼を開ひて見たら又もや不意打の一問。困つた。豫試の調子、地殼變動で片附けてやれの氣持ちになつた。そこで二問から書き續けた。

二、神戸市を地理的に説明せよ。

一、史的考察

文化地帯

畿内



- 1 明治以前 兵庫港は吾國文化の核心たる畿内の門戸。時代が違つて居るが、時に同様なこともあつたが同じく門戸。
- 2 明治以後、開港までの状況は、神奈川と横濱の關係を、兵庫と神戸に於て繰返す。
- 二、港としての自然的條件
  - 1 位置 横濱とともに我國楕圓の焦點に位す。(圖は略す)
  - 2 地形 六甲山塊の斷層により落込み、三つの川がコンセクエントになり、デルタを作る。故に水深大に港域廣い。
- 3 風向 内海であり、冬季の西北風は中國山地によつて防ぎ得る。
- 三、港としての人文的條件



の生命を保たしめて居るものは地理的習慣である。

- 五、市の構造 圖の如く工業地帯住宅地帯の間に、商業地帯があり横斷のために事故起る。故に高架鐵道を設けんとしてゐる。
- 六、結論 史的に考察する時横濱に類似し、自然的人文的條件の良好が現代の神戸たらしめ、市の構造は帶狀をなし、然して阪神工業地帯の一部を形成し、支那印度歐洲との取引盛大を極む。
- 三、ソウエート聯邦の自然景域を説述し併せてそれが同國の統一性に及ぼす影響を論述せよ。
- 一、概説 極端なる思想により、民族的醜態を來し、四分五裂となつたロシア大帝國の、なり行きや如何にと、各國注意



- 1 人文的位置 吾國人口の分布は神戸を境として四千萬づゝ分布して居る。(圖は略す) 故に吾國の重心に當り位置良好と言ひ得る。
- 2 港としての設備 現代港としての人工設備、即ち防波堤、棧橋、税關、倉庫、燈臺、船渠、等は殆んど完備してゐる。
- 四、神戸港として特殊性
  - 1 貿易狀況 我國貿易額の四%を占めてゐる。阪神工業地帯を控へるため輸入港。輸入品→棉、鐵。輸出品→綿製品、マッチ等。
  - 2 大阪との關係 大なる港が二つ列んでゐることに外人疑問を持つたこと。神戸は外國への港。大阪が國內的の港。神戸港



的とされて居たのである。ところが突然列國監視のもとに、彼等は統合へと向つた其理由をば他の幾多の條件は抜きにし、今自然的景域が如何なる關係にあるか？の大略を述べて見ます。



ロシア自然景域圖

割をなしてあるものと考へる。

四、經濟地理に於ける經濟形態を説明せよ。

一、經濟狀態とは

交替作用即

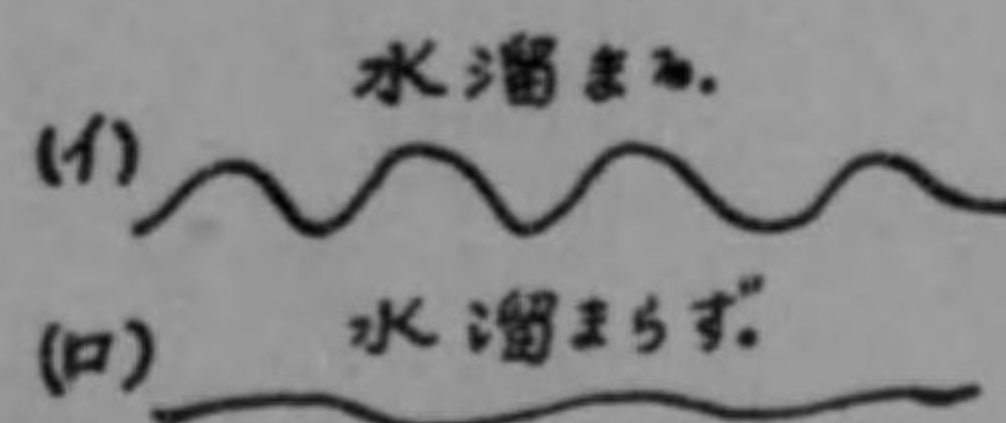
$VL+KL=Wm \times FK \times T$

三、統一性との關係

- 1 地形。古き地塊、起伏小さく廣大である。分水嶺は低く川は緩に流る。海岸殆んど凍りて役に立たず。海への出口が此國を大ならしめ、減んだ一條件ともなる。
- 2 礦物の富源。現代國家としての礦物源、殊に鐵石炭石油は、重要な要素をなす。然るに此國に於て此等圖示する如く邊在的に分布して居る。これが統一に大なる力をもつ。

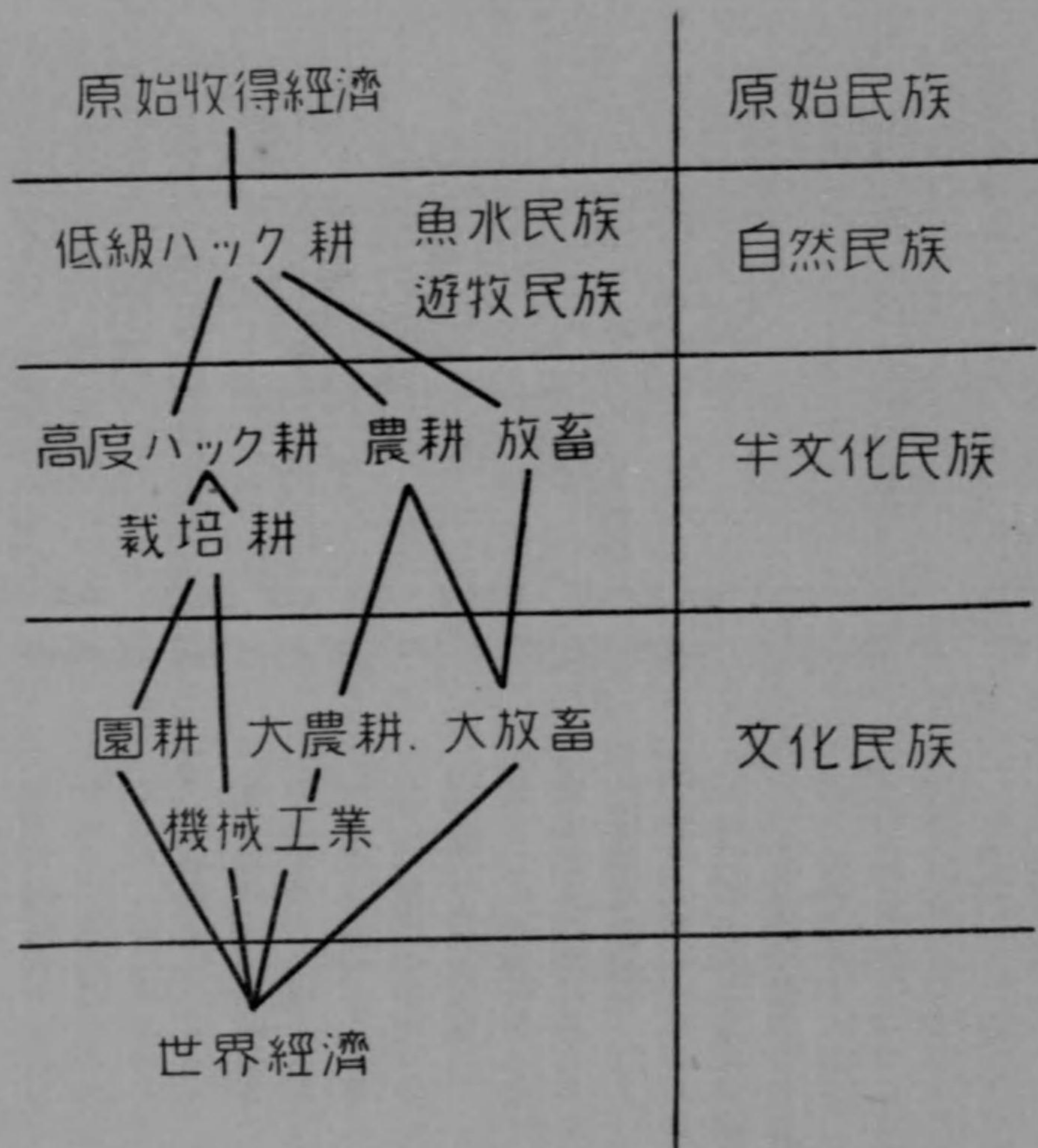
四、結論

ロシアの統一性に大なる力を持つてゐるものは、自然景域であり、即地形平坦及礦物埋藏の偏在が大なる役



五、結論

佐藤先生が外國諸學者の言つてあることを参考とし、我國經濟地理界に此様な新しきことを御稱へになつたことは、我が地理學界を、より科學的な



の結果生じたものであり、其文化傾角の如何によつて、形態を異にす。

二、文化階梯と經濟形態との分類

三、經濟形態の分布

四、各形態の説明

時間なくなつて來たので一、二を述べてやめます。

1 ハック耕、木棒を原始的の耕具として耕作するもの。低級ハック耕、高級ハック耕に分ける。

2 園耕、集約的農法の最も發達したもの。





四、氣候との關係  
(圖示せしも略す)

五、航空路に於ける氣候との關係を説明せよ。

らしめることと思ひます。

一、航空路及使命  
 汽車汽船時代の出現が、それ以前の交通へ隔世の感を起さしめた以上、航空時代の出現は大なる變化を與へるものと思ふ。かく考へる時其使命や大である。

二、航空安全性の保障  
 航空時代出現への遅々たるは、安全性の保障が出来ないからである。最も進むのである西歐でさえ、危険率が汽車の二百倍とか。然らば其制約をなすものは、

(イ) 機械の如何、操縦者の如何  
 (ロ) 氣象及氣候  
 の二つであると思へます。

此處に本問題の核心があると思ふ。

三、氣象との關係  
 氣候は氣象の永年の平均である。故に氣象から述べます。刻々に變る氣温温度氣壓風向、晴曇降雨の狀況などと、デリケートな關係を持つ。故に各國其氣象變化を迅速に、飛行家につげんと努力してゐる。

吾國に於て危険なのは箱根・鈴鹿、生駒、地方である。故に觀測所を設け速報す。



の地殻變動により、數條の背斜向斜軸を生じたるものである。

二、分岐とは、  
 上圖の如き場合、一箇所より分れてゐる時を言ふ。

三、諸説の起る理由、  
 プラステイックな地帯の即ジオシンクラインが内的營力の結果、物理的作用のもとに分岐の形態をとるのである。故に其物理的な作用

A 間接的關係について。

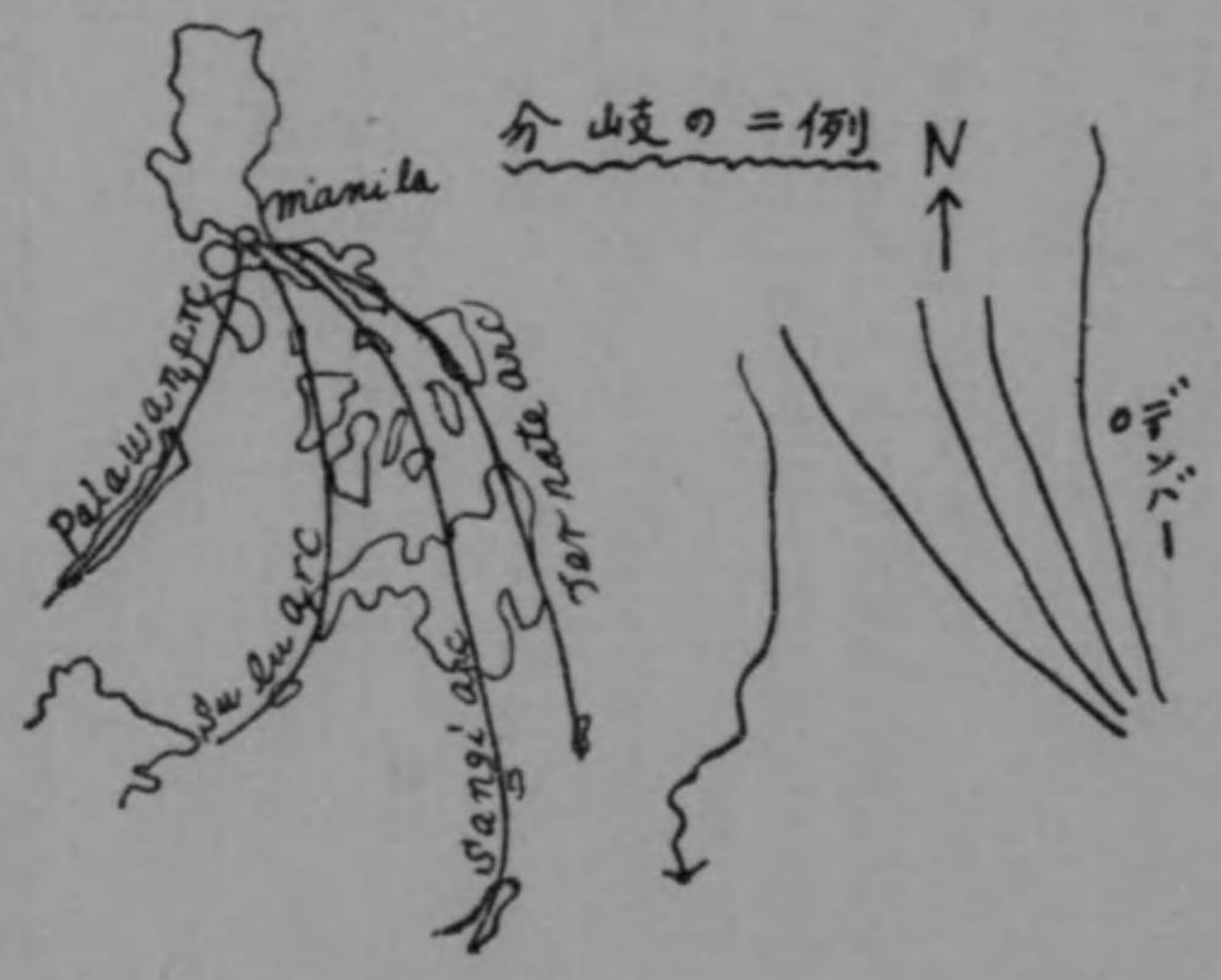
航空路の策源地は文化地帯である。この文化地帯は全く北温帯にあるを見る時、間接的な制約を受けてゐると言ひ得ると思ひます。

B 所謂氣候との關係について。  
 交通的に一體をなす歐米が其の汽船帆船の海流風向に制約されてゐる如くに、航空路が制約されてゐる。

五、結 論

航空路は如何しても氣候變化の著しくないところを選ぶ。

一、褶曲山脈の分岐に關する諸説を擧げよ。



一、褶曲山脈とは、  
 ジオシンクライン



を生ぜしめた因子の、即ジオオシクラインが如何なるものであるか、當時の陸塊の分布、古地理學、地球内部構造等の明瞭にされるまで、色々と學説が生ずるものと思ひます。

#### 四、諸説について

- 1 徳田博士説、大陸よりの側壓の結果なるべしと。(マレー群島の該略圖は略す)
- 2 ジウス、ベンク、などの説、又自由分岐とか強制分岐とか、見た様な氣もしますが忘れられました。

#### 五、結論

分岐の神祕を解くべく諸學者は、實驗實證的な立場から色々學説を立てると雖も、普遍的なものがない。そこで吾々は出来る限り、諸説を適當の場所に適當に、應用せねばならぬと考へます。

#### 二、時間の配當について

時間の實際的配當は、豫試同様殆んど不同でした。記載した順に申しますと、六十分四十分四十分八十分二十分。辛じて試験官の嚴肅なる中止の聲に間に合つた様なものでした。この二つの事實が、與へられた時間に與へられた問題を述べるところの、問題練習が重大な力を持つものであることを、物語るものと思ひます。

#### 三、口述まで

筆記後の九日まで二日二分ノ一、日記は次の如くです。

昭和五年十二月六日。午後。帝國書院の案内でお茶水博物館參觀。蚤とり眼で岩石を見る。

學海指針社で老社長のお話をきく。老いて益々盛んなりだ。

前川一郎氏から地球儀による最短距離の出し方を承はる。

夜。安田兄と本試筆記の状況を記録す。

十二月七日。午前。帝國書院樓上にて、工藤先生から地形圖實習を承る。馬鹿に、もつたい振るものだと思つた。

誰れか骨董品と言つてゐた。

午後、同先生の器具實習。子午輪の使用法の知らぬには驚いた。

十二月八日。同志が陸地測量部海軍水路部の參觀なるに、吾等二人はお茶水博物館に出掛ける。然るに月曜休日なることを入口で知る。

午後二時まで神田古木屋をぶらつく。三時から日本橋東華小學校小原八一先生を尋ねる。主として東京市の御研究を承はる。遅くまで飽くことを知らず色々と御教示下されたことを感謝致します。

#### 四、反省

省る程穴が出る。殊に安田兄と比較對照したものだから。今當時の記録を引張り出して見ると、次の如くであつた。

二番では工業地帯の記載が落ちて居るし、三番では河川の統一に及ぼす影響植物景域を落した。四番は經濟形態の各様態について力説しないことは、的外れな答案でないかとまで考へられた。五番はもつと明瞭に氣候を分析し例を求めなかつたことが見出された。

一番は評論にかつて發表になつてあつたし、香川先生の地形學原論にアルガン説ジウス説としてあるのを、ベンクなどと出鱈目やつたり、入れなくともよい圖を入れたり總じて豫試よりは確に悪いと思ひました。

#### 一〇、口述の實際

##### 一、第一日

控所は凄れ程汚い圖畫室だ。履歷書を渡し、番號を呼ばれた人は順次に出よ。

便所には勝手に行くなどの嚴命。本年はくじでなく受験番號となる。僕のは六七〇番、始めの方に三十人居る。

畫からとのこと。

時の経るにつれ戦友の減るのも心細い。

愈々来た

第一室 内田先生

第二室 辻村先生

第三室 田中先生

第四室 佐藤先生



## 第五室 飯本先生

## 一、飯本先生

メルカトル海流雨量圖を示し

◆何圖法で書かれてあるかを正し

其の特徴を言はしめ

◆大圏航路の原理及東京ロンドン間を

圖上に示さしめ

◆地球儀により實測せしむ

僕は最初五室であつた。静かに入つて見ると、大きな地圖が擴げられてあり、地球儀の置かれて居るのが頭にびんと入つた。

先生(以下先生は△印)『此の地圖が何圖法で書かれたのか知つて居るかね』

見ると世界雨量海流等温線圖だ。メルカトル圖法と思つたが、そんなものを聞く筈がない。よく見たら違ふ様な氣もしてきたので、

私『等積圓柱圖法とかいふのでないでせうか』

△『君は何々氏の圖法など、言ふのを知つてゐるかね』

如何もあやしいと思つたので、教壇に上つて、よく見てもよいですかと言つたら、よいとのこと確かにメルカトル圖法だ。

私『先生メルカトル圖法です』

△『それじゃ其の特徴を言つて御覽』

私『ハイ、漸長で、極に至るに随つて面積大となります。故に赤道地方が正しいのです。』

又經緯線が直角をなして交はり、方位が正しく現はれます。故に航海に、現在は殊に航空に、使用される様になりました』

△『それではサンフランシスコと横濱の航路をこれで指差して御覽』

僕は大圏航路の様な氣持で、曲線に示した。

△『眞直でもよいじゃないか』と教へて下さる。

△『それでは、ロンドン、東京間の大圏航路による航空路を示して見よ』

ツエベリン伯號の航路を示しますと、

△『よろしい此の地球儀で計算して見よ』

早速學海指針社で教へられた通り復習した。

△『君、どこか講習でも教はつたのか』

私『イヤ、昨日學海指針社で教へられて來ました』

△『ハツムツ：：それではその原理を言つてごらん』

私『地表の二點を含み：：：』と、まごついてゐたら、先生は、こうなんだらうと言つて下された。

印度洋の印度に近き海流を示されて

△『この海流は季節によつて變るか』

私『變ります』

△『それでは、此の圖は何時の、を示したのか』

見えなかつたので、だまつてゐたら、行つてもよいとのこと。夢中で出た。監督の居る場所に來て始めて我に歸る。これなら半分だ。今度こそはと腕によりをかけて待つてゐたら、間もなく第二室へ入ることになった。

## 二、辻村先生

マレイ諸島圖幅を示し

◆成因を説明せしめ地形に及べ

◆本年十二月號評論による智識の要求。

履歷書を出すといきなり

△『これは馬來群島の地圖だが、これについて聞いて見るが、然し本の智識で答へては駄目だ、雑誌の智識でなくてはいかんよ。まづ纏めて居りなさい』



どう考へても變んだ、雑誌の智識とは。然しこの地方については色々読んで自信あるつもりだから、ぢつと考へてゐた。

△『此の弧は』

私『メンタウエーです』

△『よし、これは』

私『バンド弧です』

其の次に他の二つの弧を聞かれたが、二つとも混同して答へてしまいました。

次にボルネオ、セレベスの二島を指され

△『この島の構造上の相違は』

私『セレベスは沈降したからです』

△『イヤ、そんなことは常識だ君』

これは大變、これ以上は知らぬのだ、參るにも馬鹿に早い。黙つてゐると

△『兩方を比較してごらん、セレベスは馬鹿に高峻で、ボルネオはその反対じゃないか』

何んだかセレベスを褶曲山脈だと答へるのがよい様な氣がしてならない。でも間違つたら……思ひ切つて

私『セレベスは褶曲によつて……』

△『よし、それでせう。それではボルネオは』

私『準平原にされた地です』

△『この様な地は東亞にないか』

私『遼東、山東半島、朝鮮などです』

△『そうだ。このスンダ海は如何して出來たのです』スンダ海を指されて

私『コンテネルタルセルフで沈降して出來たのです』

△『海が上昇してもよいじゃないか、大陸棚の證據は』

私『河谷の跡があります』

△『其の外に』

私『知りません』と言つたら、『君、本當に雑誌を見てゐるかね』と聞かれた。『見て居ます』と言つたら、それ

では、今月號は見ましたかと言つて、机上から、十二月號の雑誌のところを指差し此處に書いてあるとのこと、

私『先生、それは見てゐません。出立するとき、まだ来てゐませんでしたから』

△『いや本屋で見なければいかん。地理をやるものは、それ位の向學心がないと駄目だ』悲觀だ。

### 三、内田先生

#### 九十九里濱圖幅を示し

#### ◆其の成因より聚落の關係に及べ

先生、ここにこしながら五萬分の地圖を示された。此の時、直覺的に私は越後平野と思ひ込んでしまつた。

△『臺地と、平地の境は』

私『こ、です』と、地圖に手を觸れて指すと、そんなに手をかけてはよごれるではないか、とお目玉頂戴。

△『海との關係はどんな風になつてゐます』

私『少し曲つてゐますが、直線、そして平行してゐるのではないでせうか』

△『もつと大局から見なくてはいいかん』

△『海に凹畫をむけてゐると言ふものだ』と教へて下さる。越後平野がどうしてこんなことを言へるものかと、

變に思ひつゝ居たら、いきなり

△『この成因は』

私『斷層です』

△『何に』越後平野ですと、山地平地の境は、斷層で直線である筈なのに、と思つてゐるうちに、四つの褶曲山

脈の竝んでゐるのを思ひ出し

私『褶曲です』

△『何んだ』はて困つた。如何しても切り抜けなくては合格見込ない。そこで越後平野といふ固有名詞を頭か

ら去り、崖をなすべき條件を考へて見たら、斷層でなければ、海蝕しかない筈となつて來た。



私『先生、今度は解りました。海蝕です』

△『よし、その證據は』

私『この崖です』と言つて地圖に示す。まあいいでせう。これから地理的説明を問ふ段になるのだが、時間が無いから歸つてよい。

後に友達と話したら、九十九里濱圖幅であつたとのこと、言はれて見れば、先生の問はうなづけるし、優しい問題であつたのに、これが惱みの種となつたのです。

#### 四、田中先生

紀伊半島の圖幅を示し

◆人文より自然に及べ

◆主として、水田、畠、漁港

先生の前の椅子にすゝめられる儘に腰掛けて圖幅を見れば、紀伊半島南部である。側に

「人文より自然に及べ、主として、水田、畠、漁港」

六分……とある暫くして催促され

私『大體山地と海岸とのこの地域に分けて述べて見ます。山地の方には……』

△『待て、問ひが人文から自然に及べではないか、それに山が……と言へば逆になる。水田が……と言はねばならぬ』

私『水田が少く、川の附近にぼつくと……』

△『その述べ方ではいかん。(水田を指されながら)水田が此處にあり、此處にもあるをそして此處にもある、それが何れも川の附近にある。故に水田が川の附近にあると結論することが出来るのだ』

私『ハイ、解りました』

實に残念でした。それは田中先生が此の様な歸納的方法をとられることが、お得意であることを知つて居つたのに。

△『それでは、海岸地方の畑について言つてごらん』

私は教へられた様に歸納した。それから漁港について大島の海蝕法についての問あり。ほう／＼の體で出る。

#### 五、佐藤先生

世界人口密度分布圖、工業地帯の分布圖を示し

1 兩者の關係は如何

2 世界工業地帯の特色

世界人口密度分布圖と、オプストの自給自足を示せる地圖を前に置きながら、六分で説明せよとのことでした。問題は平易だ、然しなかく出て来ない。纏りがつかぬ。刻一刻と時間が経過す。先生が口を開かれた。

佐藤『言つてごらん』もう断念した。つまらぬ答をするより『わかりません』と言はんと、心構へたら、

「佐藤先生、今村先生が一寸用事があるそうです」と呼ばれるや『君、考へて居たまへ』と言つて出て行く。地獄で佛に會つたとはこの事。無威壓なところは、馬鹿に纏まる。二分にして早や腹が決つた。お出でになると同時に答を始めた。

私『世界の人口密度と、工業地帯からのべます。人口の密度の多いところは、工業が起きて居ると言ひ得ます。然し絶對的ではありません。ジャバなど其の例です。次は世界工業地帯の特色を述べます。』

ヨーロッパの地帯は、鐵、石炭をもとにする現代工業の發祥地。原料を世界各地より求め、製品をば賣り付けて居るのであります。英獨が其の核心、これも或意味に於て衰へつゝあり、行詰りつゝあると言ひ得るではないかと思ひます。

米國の工業地帯は、原料、原動力の豊富な産出が、今やヨーロッパ工業を凌駕せんとしてゐます總べてが大規模です。

南半球の工業地帯(南亞、濠洲、南米)は起りつゝあるところと言ひ得ると思ひます。そして半製品を出すことが特徴です。

日本、印度、支那の工業地帯。これは人口稠密、家内工業が特色です。然し日本は歐米的工業に躍進してゐます』

自分としても確かに、口述中の上出来と心の中で思つてゐたら、



## △『歸つてもよい』

其の晩は相變らず下宿屋で、安田さんと尋ね合つた、立岡さんと共に戦況を話合つた。僕は如何しても内田先生への失敗があるので駄目だ。然し海岸まで行つたからなど、樂觀もして見た。

明日は何んだらう。教授法とすれば五人一緒か、すれば地形學的聚落的に、地理區的に、相關的に、政治地理的に、交替作用的に延べなくては駄目だ。など、語りつつ休む。

## 二、第二日

内田先生が前に、他の先生四人後に控へてお出でになる。

「關東地方の地勢と産業との關係を五分間で述べよ」と明記され、地圖が擴げられてゐる。山地、低地、海岸に分け、低地を洪積の臺地と沖積とし、山麓の養蠶製織地帯、臺地の麥、沖積地の米、海岸の魚等及氣候と結びつきての避暑地、柑橘類栽培、更に東京の附近の園耕につき述べ終つたら中止された。そして内田先生が何か大事なことがあつたら簡單にそれを言へとのこと。

關東地方の産業の特色は即ち關東地方が、北九州、瀬戸内海、畿内、東海道と共に我が國文化地帯の一をなして居り、其のセンターとして近代的首都東京のあることを忘れては説明は出來まいと思ひます。

## 一一、結 論

以上を通讀して見ましたら、

知識をば讀圖に、殊に五萬分ノ一地圖（フィールドに、結合させることに努力したと、言ふことが落ちて居る様です。

兎角随分と暴言も致しました。

けれども、ほんたうに、生來愚鈍な私の合格さして戴くまでの全過程の赤裸々です。

然し、このことが幾分なりとも、御参考になりますれば幸いです。

最後に御指導下されました諸先生、委員の諸先生に、感謝しつゝ筆を擱きます。(二五九一、二、二五)

## 二、出さうな重要模擬問題集

次に各分科別に二三の模擬問題を作成した。受験者は一讀後實際に模擬答案を認める事も必要であるが、又頭の中て解決されてもよいと思ふ。

## 一、地形學

- 1 山脈の對曲と連鎖について記せ。
- 2 現今に於ける造山論を概説せよ。
- 3 山脈の成因に關する振動説について詳述すべし。
- 4 丹那盆地附近の地形と今爾の地震とを説明せよ。
- 5 日本に於ける活斷層について説明せよ。
- 6 日本島に於ける海岸段丘の分布を述べ、併せて地盤の運動に説き及べ。
- 7 例を關東周邊にとり、河成段丘を説明せよ。
- 8 本州中部の地形を概説せよ。
- 9 九州島を例として海岸地形を説明すべし。
- 10 北海道の火山を例として火山地形を詳説せよ。
- 11 アフリカ大陸を例として乾燥地形を説明せよ。
- 12 北歐の水河地形について記せ。
- 13 實例を擧げて各水河地形を説明せよ。
- 14 本邦のカルスト地形について述べよ。
- 15 高度分布の研究がもたらす地形學的效果について記せ。
- 16 本邦に於ける火山活動を地史學的に説明せよ。
- 17 中央裂線 Median line (Gross Medianplate) について詳述せよ。



二、經濟地理學

- 18 フオツサマダナ (Fossa Magna) について記せ。
- 19 地形學に於て地形の分析と地形の輪廻との特質を問ふ。
- 20 日本島の地形を分析せよ。
- 21 北アメリカ合衆國に於る地形區を述べよ。
- 22 平野地形の各種を説明せよ。
- 23 各大洋底の地形について記せ。
- 24 各大洋中に於ける淺灘を説明せよ。
- 25 珊瑚礁の成因に關する學說を批判せよ。
- 1 西歐の氣候が齎らす經濟效率について記せ。
- 2 世界の主要漁場について記せ。
- 3 アジアの文化階梯について記せ。
- 4 民族と經濟階梯との關係を説述せよ。
- 5 アフリカの經濟地帯について記せ。
- 6 現今世界に於ける肉類の需給狀態を述べよ。
- 7 ポレアールの經濟地誌を述べよ。
- 8 現今世界に於ける農業地帯と氣候との關係を述べよ。
- 9 大西洋の兩岸に行はれる經濟活動について記せ。
- 10 世界に於ける米の生産について論ぜよ。
- 11 熱帶地方の單種栽培について記せ。
- 12 棉花が有する經濟的地位を論述せよ。
- 13 現今世界に於ける棉花戰について詳述せよ。
- 14 英國の熱帶植民地の經濟價値を述べよ。
- 15 工業地帯の移動を述べよ。

三、政治地理學

- 16 世界的に見た石油經濟の現状を述べよ。
- 1 國家の輪廓形態を論ぜよ。
- 2 太平洋の政治的支配について詳述せよ。
- 3 世界に於ける主要海峽を政治地理的に論ぜよ。
- 4 國家の氣候的分布を論述せよ。
- 5 民族主義について記せ。
- 6 民族、言語と國家の統一性との關係を論及せよ。
- 7 國家擴張の諸形態を述べよ。
- 8 世界に於ける各地中海の政治的重要性を述べよ。
- 9 政治地理的に國境の各形態を論評せよ。
- 10 日、米、獨、三國の政治地理的位置を論ぜよ。

四、世界地誌

- 1 北支那の地誌を述べよ。
- 2 シヤム國の地誌を記述せよ。
- 3 ファイリツピン群島について記せ。
- 4 デカン高原の地誌を説明せよ。
- 5 スウェーデン國の地理を述べよ。
- 6 ライン河流域の地誌を述べよ。
- 7 アルプス山中の國家の産業について記せ。
- 8 パリー盆地の地誌を述べよ。
- 9 英國の地理區について概説せよ。
- 10 イベリア半島の地誌を述べよ。
- 11 アフリカの氣候區について説明せよ。



- 12 セントローレンス河下流の地誌を述べよ。
- 13 ロッキークォールズの地誌を詳述せよ。
- 14 カリブ海岸の地誌を述べよ。
- 15 南北米大西洋岸の地誌的差異を問ふ。
- 16 南米太平洋岸の地誌を述べよ。
- 17 ビクトリア洲の地誌を説明せよ。
- 18 ニュージブランドの南北二島を地理的に比較せよ。

五、日本地誌

- 1 日本に於ける休養地帯を論ぜよ。
- 2 關東平野周辺の地誌を述べよ。
- 3 本州中部の地形と交通系との關係を述べよ。
- 4 伊勢海岸の地誌を説明せよ。
- 5 静岡縣の地誌を述べよ。
- 6 近畿地方の地理區について記せ。
- 7 瀬戸内地域を地理的に區分し、その各々について地誌的に説明をなせ。
- 8 京阪神三都を比較せよ。
- 9 地理的に日本の姉妹地方について記せ。
- 10 北九州工業地帯の地理を述べよ。
- 11 北海道地方に於ける三大平野を比較せよ。
- 12 樺太西岸の地誌を述べよ。
- 13 臺灣の北部と南部と中部とを比較せよ。
- 14 朝鮮の地理區に對する意見を問ふ。
- 15 津輕海峡を境として南北地方の地理的差異を問ふ。
- 16 奥羽地方に於いて各谷平野の地理的特異性を述べよ。

三、中等教員檢定試験受験案内

- (一) 受験資格
- (二) 受験資格獲得の捷徑
- (三) 豫備試験と其の效力
- (四) 本試験
- (五) 檢定試験の時期
- (六) 受験手数料
- (七) 受験者心得
- (八) 出願手續書類
- (九) 受験出願に對する注意



## 一、受験資格

中等教員検定試験は何人も之が受験を爲し得るものではない、一定の受験資格を有して居る者に限られてゐる。先づ第一に、教員免許令第五條に「左の各號に該當する者は教員検定を受くるを得ず」と規定して、

- 一、禁錮以上の刑に處せられたる者。
  - 二、破産若しくは家資分散の宣告を受け復権せざる者又は身代限りの處分を受け債務の辨償を終らざる者。
- 以上の何れかの一に抵觸すれば絶対に受験を禁止して居るのである。更に又、たとへ前述の條項に觸れなくとも、或る資格を有するに非ざれば受験する事が出来ない規程がある。即ち試験檢定規程第五條に左記の條項が列記されてゐる。

第五條 左の各號の一に該當する者は試験檢定を受くることを得、但し第二號及第九號に該當する者に在りては

- 一、一ヶ年以上在學し卒業したる者に限る。
- 一、中學校卒業者。
- 二、高等女學校及高等女學校實科若しくは實科高等女學校卒業者。
- 三、專門學校入學檢定規程に依る試験檢定に合格したる者。
- 四、專門學校入學者檢定規程第八條第一號に依り專門學校入學に關し指定を受けたる者。
- 五、徵兵令第十三條又は文官任用令第六條に依り中學校と同等以上と認定せられたる學校を卒業したる者。
- 六、小學校本科正教員、尋常小學校本科正教員、若しくは小學校准教員の免許狀を有する者。
- 七、教員免許令に依り授與せられたる教員免許狀を有する者。
- 八、外國に於て師範學校、中學校、高等女學校に準すべき學校を卒業したる者。
- 九、文部大臣に於て某學科目に關し適當と認定したる學校を卒業したる者。
- 十、第一號第二號に準すべき學歷ある者。

## 二、受験資格獲得の捷徑

文檢受験志願者は前述の受験資格の各號中の何れかの一に該當してをらねばならぬが、此の資格を全然有して居ない者は、先決問題として、其の資格を獲なければならぬ。而して之に就いて最も簡便にして容易なる方法は、小學校專科正教員の免許狀を得ることである。專科正教員は唯一科目の試験にパスすれば宜いのであつて、他の小學校教員或は專檢等の如く多くの科目に努力を費すこともないのである。まことに專科正教員は文檢受験資格獲得の捷徑で、此の方途を選ぶが得策と信ずる。

尙序に注意することは、專科正教員は、文檢の何學科へも受験資格を有してゐるのである。例へば圖畫科專科正教員と雖も、國語、漢文、地理その他凡ての科に應試する資格をもつてゐるのであるから、此の點誤解してはならぬ。

## 三、豫備試験と其の效力

檢定試験は豫備試験と本試験とに分けて行はれる。而して豫備試験はすべて願書經由の地方廳即ち自分が願書を提出した地方廳に於て受験するのである。但し東京府だけは例外で、東京府宛の出願者に對しては都合上文部省で直接試験をすることになつてゐる。出願書類は一旦提出した後は如何なる理由あるも、その受験地の變更は許可されぬから、願書提出の際は、自分の最も便宜の地に爲すがよい。受験地は受験者の全く自由で、自己の本籍地とも限らず、現住所とも限らない。他の府縣の試験場が便利であれば、其の地へ願書を提出して豫備試験を受けるがよいのである。

試験の場所は各地方廳所在地の夫々便宜の所で行ふもので毎年一定して居らぬから、受験者は受験票を受領の際、係員に試験場を承合する必要がある。

豫備試験の效力は、次回まで有効で、即ち前回豫備試験合格者が次回に再び同一學科目を出願したる場合に限り之を免するので、此の際は直ちに本試験だけ受験すればよいわけである。若しかゝる時に同一學科目について出願をせざれば自然效力は消滅して了ふものである。

尙此の豫備試験の際には、國民道德要領、教育大意の二科が併せ課せられる事に定められてゐる。



四、本 試 験

本試験は豫備試験に合格したる者に對して、全部文部省に於て施行するのである。通常は筆記試験と口述試問に分けて行はれるものであるが、學科目に依りては實験、實地試験等を課されることがある。又極く稀れであるが教授法についても試験される場合もあつて、一樣ではないから試験の状況等は良く先輩等について詳細を知り置く必要がある。

本試験の日時刻並に場所等は豫備試験終了後に官報に詳細掲載されるから、受験者はよく注意され度い。又その毎年の時期等は後に近年の試験状況を掲げてあるから、一覽すれば大略の事が知り得られると思ふ。

五、検定試験の時期

試験検定は數年前までは毎年一學科目を二回づゝ施行してゐたが、最近は一學科目を年一回に改め何れの學科も年に一回は施行されてゐる。而して其の時期は一定してはないが、左の表を一覽すれば大略の見定めがつくと思ふ。是れに依ると第一次は五月頃豫備試験を、七月頃に本試験が行はれ、第二次は十月頃豫備試験を、十二月頃に本試験を施行して居る。

此等の試験の時期は其度毎に官報に公示されるから、受験者はよく注意して出願期限を誤らぬ様にしなければならぬ。

検定試験施行状況一覽

施行年	施行回数	試験公告	出願期限	試験施行學科目	試 験 期 日	
					豫備試験	本 試 験
昭和二年	第四十六回	昭和二年三月十日	昭和二年三月十五日	教育、英語、佛語、獨語、物理、化學、博物、理科、法制及經濟、習字、圖畫、體操、音樂、手工	五月四日ヨリ	五月十三日マデ
	第四十七回	昭和二年八月二十五日	昭和二年八月三十日	修身、國語、漢文、歴史、地理、數學、家事、裁縫、手藝	十月二十五日ヨリ	十一月八日ヨリ
昭和三年	第四十八回	昭和三年三月十五日	昭和三年三月二十日		五月十八日ヨリ	七月二日ヨリ
	第四十九回	昭和三年七月末日	昭和三年八月五日		十月六日マデ	十二月二日ヨリ
昭和四年	第五十回	昭和四年三月十五日	昭和四年三月二十日		五月八日ヨリ	七月二日ヨリ
	第五十一回	昭和四年八月六日	昭和四年八月十一日		十月八日ヨリ	十二月二日ヨリ

昭和三年	昭和四年	試験施行學科目	
		豫備試験	本 試 験
第四十八回	第五十回	五月十八日ヨリ	七月二日ヨリ
第四十九回	第五十一回	十月六日マデ	十二月二日ヨリ

六、受験手数料

試験検定手数料は、一學科目について金七圓であつて、之れは受験出願の際に、願書に収入印紙を以て貼付するのである。此の一學科目七圓といふ事について注意する事は、一學科目が數部に分れてゐる場合に、その一部を出願しても矢張り一學科目の料金を納付せねばならぬ。例へば博物科に於て其の中の動物を一科目だけ出願しても七圓、植物、動物、礦物の三科を併せ出願しても七圓でよいのである。他の學科に於ても同様である。

七、受験者心得

検定試験受験者の受験に當面しての心得を列挙すれば左の如くである。

- 一、受験者は試験當日定刻前に試験場に參着して受験票を監督者に示すべし。
- 二、試験開始の後參着又は受験票を持參せざる場合は入場することを許さず。
- 三、試験開始の後に後參着又は受験票を持參せざる場合は入場することを許さず。
- 四、試験場に出席するには男子は洋服又は羽織、袴を着用すべく女子の服装は適宜たるべし。
- 五、試験問題の内容に關しては一切質問することを許さず。
- 六、試験問題の内容に關しては一切質問することを許さず。
- 七、試験問題は文字を明瞭に記載し問題紙面の注意に於て特に綴方を指示したる科目の外は一問毎に答書を別



にし必ず「受験記號番號」を記載し且番號順に重ねて提出すべし。一問の答書二葉以上に互るときは毎葉順序の符號を記し且一葉毎に必ず受験記號番號を記載し縦書横書共に上邊右隅を綴り置くべし。

六、問題の全部に答へ能はざる場合は「全部不能」の四字及「受験記號番號」を記載したる一葉又は某問題に答へ能はざる場合は其の「問題番號」「不能」の二字及「受験記號番號」を記載したる一葉を提出すべし。

七、「國民道德要領」「教育大意」の試験を受くる者に在りては「受験記號番號」の上に必ず受験出願科目を記載すべし。

八、第六項又は第七項の記載を逸したる者若しくは錯誤して之を記載したる者は其の答書を無効とすることあるべし。

九、既に答書を提出したる上は訂正することを許さず一旦退席したるときは其の試験時間中再び入場することを許さず。

一〇、試験場に於ては受験者互に言語を交ふることを許さず又監督の許可を得ずして席を離るゝことを許さず

一一、試験の時刻至り「起立」の號令ありたる後は執筆することを得ず。

一二、受験者は總て監督者の指揮命令に従ふべし若し監督者に於て不都合の行爲ありと認めたる場合には退場を命ずることあるべし。

一三、前項不都合の行爲ありと認めたる者は其の情狀に依り既に提出したる答書を無効とし且引續き受験することを許さざることあるべし。

一四、試験場に入るには各學科目を通じて筆、鉛筆、錐、小刀、墨汁又は硯及墨を携帯すべし。

右の外尙各學科目の種類に依り携帯すべき用品左の如し。

外國語 ペン、ペン軸、インキ、吸取級  
地理 色鉛筆、メートル尺、分度器、コンパス  
數學 三角定規、コンパス  
習字 三寸角一寸角五分角及二分角の大きさの文字を書くべき大小諸種の筆、硯、墨、文鎮、曲尺

毛筆畫 線書筆、着色筆、ヤキ筆、繪具、刷毛、羽箭、筆洗、小皿、曲尺(畫板を携帯するも妨なし)

鉛筆畫 ゴム、畫用鉛筆、繪具及筆、筆洗、小皿、曲尺(畫板を携帯するも妨なし)

用器畫 ゴム、圖引器械、定規、ピン、曲尺、(畫板を携帯するも妨なし)

家事 曲尺、消ゴム

體操の本試験に於ては 擊劍……………劍擊具一式  
柔術……………柔術衣一式

裁縫 豫備試験に於ては……………針、指貫、鉄、篋、笹鍔、鍔板、鯨尺、卷尺、チヨーク  
本試験に於ては……………針、指貫、鉄、篋、笹鍔、鍔板、鯨尺、卷尺、チヨーク

薄記 黑色インキ、赤色インキ、ペン及ペン軸、丸定規、吸取紙

手工 消ゴム、圖引器械、尺度、三角定規、ピン(畫板及丁定規を携帯するも妨なし)

手藝の本試験に於ては 編物 金屬裝編針(五本一組)、角製鈎編針、針、金屬製鈎編針、毛絲針、鯨尺、鉄  
刺繡 針、鉄、めうち、繪具  
造花 (ビレセット、筋鍔、舞鍔(大中小)、筋二筋三筋の鍔、ゴム板、晒木綿(二尺五寸)  
鉄、糊板、彩色筆(三本)、線書筆、刷毛、繪具、繪具皿、筆(大)、丸鍔

八、出願手續書類

受験について提出すべき書類は次の通りである。此の中證明書等は各々人に依つて相違があるから出願の際は手落なく注意を要すべきである。

- 一、受験願書(第一號書式)
  - 二、履歷書(第二號書式)
  - 三、受験資格證明書(第三號書式、第四號書式、第五號書式、第六號書式)
  - 四、身體検査書(第七號書式)
- 以上の書類の書式及び記載について注意要項は、後章の「手續上の注意」及び試験規程の後に掲げある書式雛形を見れば詳細判然すると思ふ。



## 九、受験出願に対する注意

出願上の注意は試験施行の告示と同日の官報に公告される慣例で、これを取纏めて見ると次の如くである。之れは毎年同様で、恐らく今後も變りはないであらう。

## ◇出願に関する注意事項

- 一、元第二種學校（女學師範學校、師範學校女子部、高等女學校）の教員免許狀を有し更に同一學科目の試験檢定を出願したる者に對しては其豫備試験を省き本試験のみを行ふ
- 二、「國民道德要領」「教育大意」の試験は豫備試験の際に行ふと雖も其成績は本試験まで之を保留するものとして「教授法」の試験は本試験の際之を行ふ
- 三、前回施行の（前回に施行せざりし科目に付ては最近施行の分以下之に做ふ）教員檢定試験に於て豫備試験に合格したるものにして今回同一學科目の試験檢定を出願したる場合には教員檢定に関する規程第八條第四項に依り當該學科目の豫備試験を省き本試験のみを行ふ但し「國民道德要領」「教育大意」の試験は教員檢定に関する規程第九條但書の場合の外之を省略せず
- 四、某學科目の免許狀を有し又は前號の豫備試験に合格したる者に對する試験檢定は左の區別に依り之を行ふ但し「國民道德要領」「教育大意」の試験に關しては前號と同じ
  - 國語科 漢文科の免許狀を有し若し前回施行の教員試験檢定に於て漢文科の豫備試験に合格したる者にして國語科の試験檢定を出願したる者に對しては其豫備試験を省き本試験のみを行ふ
  - 漢文科 國語科の免許狀を有し若くは前回施行の教員試験檢定に於て國語科の豫備試験に合格したる者にして漢文科の試験檢定を出願したる者に對しては豫備試験を省き本試験のみを行ふ
  - 歴史科 日本史、東洋史の一に關し成績優良證明書を有する者にして同一學科目の試験檢定を出願したるときは教員檢定に關する規程第十二條第二項に依り其證明を記載せざる部分に就き本試験を行ふ
  - 理科 物理、化學、動物、生理、動物及生理、植物礦物又は生理及衛生の中一部若くは二部以上の免許狀を有し理科の試験檢定を出願したる者に對しては免許狀を有せざる部分のみに就き豫備試験を行ふ

## 五、出願に關する書式は明治四十一年文部省令第三十二號教員檢定に關する規程を參照すべし

- 第一號書式記載注意 (一)族稱は華土族に限り記載すべし、(二)受験資格は規程に該當するもの、内最主要的事項を記載すべし、(三)二學科目以上併願の場合と雖も願書は一通に認むべし、(四)某學科目の内の或の部分の試験を出願する場合には學科目の場所に「國史科の内日本史東洋史」の如く明記すべし、(五)出願者氏名の漢字には振假名を附すべし、(六)前回施行の教員試験檢定豫備試験に合格したる者にして今回同一學科目を出願したる者は受験資格の上方に「第××回何科豫備試験合格者」と朱書すべし、(七)教員檢定に關する規程第七條第五號に依り無試験檢定出願中の者は其學科目並に出願年月日を受験資格の上方に朱書すべし
- 第二號書式記載注意、(一)學業は受験資格に關係ある事項に限り記載すべし、(二)規程第五條第一號乃至第五號及第九號の資格を以て出願の場合には必ず第三號書式の證明書を添付すべし、(三)教員免許狀は別紙に其寫を添付すべし、(四)規程第五條第六號の資格を以て小學校教員免許狀授與地方廳以外の地方廳を經由出願の場合には必ず第五號書式の證明書を添付すべし、(五)規程第五條第十號の資格を以て出願の場合には必ず其學歷に就き同條第一號又は第二號に準ずると認むべき證明書を添付す、(六)業務は現在若くは最近の經歷を記載すべし、(七)賞罰は經歷上特に重要な事項を記載すべし、(八)身上に關する事項は族稱氏名の變更等身上の異動を記載すべし(以上)



## 四、最近地理科 豫備試験問題集

### 昭和二年 度 (第四七回豫備)

- 一、房總半島の地圖を描き其の自然地理を説明せよ。
- 二、ルーマニヤ國の地圖を描き其の人文地理を説明せよ。
- 三、斷層海岸の特色を述べ例を擧げて之を説明せよ。
- 四、太平洋海底の形狀と其の成因とにつきて述べよ。
- 五、チエコスロヴァキヤ國と海外諸國との間に於ける交通につきて述べよ。
- 六、世界の糖業につきて記せ。
- 七、左の諸項につきて知る所を記せ。

(イ)公主嶺、(ロ)パンジャブ(Punjab)、(ハ)カレドニヤ山脈(Caledonian Mts)、(ニ)エストニヤ(Estonia)、(ホ)自治領、(ヘ)平太陽日、(ト)世界に於て三千米以上の高地にある都市若干

### 昭和二年 度 (第四七回本試)

- 一、次の條件を備へボンヌ式投影法を以て經緯線を描くべし。
  - (一)日本全國を包含する地域。
  - (二)全經緯線を五度づつに描くべし。
  - (三)中央緯線の描く圓の半徑 7612km.
  - (四)經線上一度の弧の長さ 111km.
  - (五)經度一度に對する弧の長さ。
- 55° N. 63,997km.
- 50° 71,629

45°	73,850
40°	85,338
35°	91,292
30°	96,490
25°	100,954
20°	104,651

- 一、縮尺五千萬分一。
- 二、東亞の弧狀列島の成因に關する諸説を比較すべし。
- 三、國境として河川の價値を論ぜよ。
- 四、黃河流域の地圖を描き其の地方の自然地理と人文地理とを説明すべし。
- 五、アメリカ合衆國の大西洋沿岸平野の地圖を描き、之を三地理區に分ちて地形と人文との關係を詳述せよ。

### 昭和三年 度 (第四九回豫備)

- 一、智利國の自然地理を説明せよ。
- 二、近江盆地の人文地理を説明せよ。
- 三、熔岩臺地の成因分布及地形を説述せよ。
- 四、舊大陸の動物區につきて説述せよ。
- 五、支那の氣候を詳説し且つこれと農業との關係を述べよ。
- 六、緩衝國の意義を説明し且つ其の効果を實例を擧げて論述せよ。
- 七、左の諸項につきて知る所を記せ。

(イ)歐洲に於ける航空路、(ロ)英國植民地に於ける燃料供給港、(ハ)東亞に於ける颱風の通路、  
(ニ)クールガルチー(Coolgardie)、(ホ)德州

### 昭和三年 度 (第四九回本試)



- 一、昭和二年の奥丹後地震に於ける地殻變動の現象を説明せよ。
- 二、本邦に於て消費せらるゝ石油の産地と其の供給の状況につきて詳述せよ。
- 三、カリフォルニア州の地形につき其の特色を述べよ。
- 四、デンマーク國の人文地理を述べよ。

五、次の諸地形を同一地域内に有するものと假想し等高線を以て一の地形圖を畫け。

- (イ)老衰期の高原、(ロ)ドリネ、(ハ)ポリエ、(ニ)火山、(ホ)熔岩流、(ヘ)殘丘(モナドノック)、  
(ト)溺水谷、(ヌ)海岸段丘

#### 昭和四年度 (第五一回豫備)

- 一、地殻運動を機械的に測定する方法を述べよ。
- 二、北アメリカ州とヨーロッパ州との氣候を比較せよ。
- 三、ブラジルの地形を説述せよ。
- 四、南九州の人文地理を説述せよ。
- 五、英領印度の産業を述べ、本邦との貿易状態について詳述せよ。
- 六、現代諸強國の政治地理的位置を比較論評せよ。
- 七、次の諸項につきて知る所を記せ。

(イ)ポーランド廊下(Polish Corridor)、(ロ)黄道光、(ハ)蚌埠(Pengpu)、

(ニ)グランチャコ(El Gran Chaco)、(ホ)余市。

「注意」問題「二」以下は成るべく地圖を添ふべし」

#### 昭和四年度 (第五一回本試)

- 一、ヨーロッパ地中海の勢力關係を詳述せよ。
- 二、オアフ島の地形と産業とに就きて詳述せよ。
- 三、北海道の中央山地に於ける交通運輸につきて詳述せよ。
- 四、滿洲問題に對して我國と列強との關係を地理的に論述せよ。

#### 昭和五年度 (第五三回豫試)

- 一、山麓面と準平原との關係を説明せよ。
- 二、信濃川流域について説述せよ。
- 三、横濱、バンクーバー間の汽船の航路につきて説述せよ。
- 四、政治地理上より首府を論述せよ。
- 五、商業國としての日英米三國を比較論述せよ。
- 六、次の諸項につきて知る所を記せ。

(イ)アヂスアベバ Addis Ababa (ロ)プンタアレナス Pu ta Arenas (ハ)キーウエスト Keywest

(ニ)コーラ半島 Kola (ホ)連山灣

#### 昭和五年度 (第五三回本試)(筆記之部)

- 一、褶曲山脈の分岐 Virgation に關する諸説を擧げよ。
- 二、神戸市を地理的に説明せよ。
- 三、ソヴェート聯邦の自然景域を説述し併せてそれが同國の統一性に及ぼす影響を論述せよ。
- 四、經濟地理に於ける經濟形態を説明せよ。
- 五、航空路と氣候との關係を説明せよ。

口答之部

關東地方の地勢圖によつて、(五人先生居つて)地勢と産業との關係を説明せよ(五分)

口答之部

第一室 内田先生

九十九里沿岸平野及び下總臺地の五萬分一地形圖圖幅を示し、九十九里沿岸平野の自然的境界及この平野の成長と聚落の發達との關係を述べしむ。

第二室 辻村先生

四百萬分一東印度諸島地圖を示し、地質構造及び陸上並びに海底の地形を説明せしむ。



第三室 佐藤先生

世界の人口密度分布圖と工業地帯の分布圖とを示し、人口稠密帯と工業地帯との特異例を説明せしむ。

(1) 兩者の關係は如何

(2) 世界工業地帯の特色

第四室 田中先生

五萬分一地形圖「那智」「串本」二圖幅を示し、主として水田、島、漁港等につき人文地誌的考察をなさしむ。

第五室 飯本先生

メルカトル海流雨量圖を示し

何圖法で書かれてあるかを正し、其特徴を言はしめ、

大圏航路の原理及東京ロンドン間を圖上に示さしめ、

地球儀により實測せしむ。

◇文檢各科別最近問題集は

左の通りに出來してゐます(最新刊)

◇修身科の部	◇國語科の部	◇英語科の部	◇地理科の部	◇家事科の部	◇物理科の部	◇手藝科の部	◇圖畫科の部	◇習字科の部	◇工業科の部	◇農學科の部	◇音樂科の部	◇手工科の部	◇體操科の部	◇農業科の部
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

以上には國民道徳要領 教育大意の各問題受験案内、出願手續、受験諸規程の詳細を附しあり (科各五十錢)

・大明堂編輯部編 (最新形・好評)

各種試驗 獨學 受驗 法

・各科出來しあり目錄御請求次第送呈

昭和六年五月三日印刷  
昭和六年五月六日發行

文檢地理科受驗法

定價金壹圓八拾錢

製	複	許	不
著者	發行所	印刷所	
香川 幹一	東京市神田區小川町三十七番地 神戸 文三部	東京市牛込區櫻町七番地 竹内 喜太郎	

發行所 大明堂書店

目錄 進呈

東京市神田區小川町三七番地  
電話 神田二二三二九番  
振替 東京四七七七八番



大 明 堂 發 行 好 評 書 目

日本大學女子大學教授 伊藤千眞三先生著	最國民道德要領	(菊判入三百餘本)	送價壹圓八拾錢
同 先生著	最新教育大意	(菊判入三百四十本)	送價壹圓八拾錢
同 先生著	倫理學綱要	(菊判入三百五十本)	送價壹圓五拾錢
同 先生著	道德學の體系と公民科の原理	(菊判入三百三十本)	送價壹圓參拾錢
同 先生著	國民道德の體系	(菊判入三百七十本)	送價壹圓
同 先生著	漢文作法要義	(菊判入三百六十本)	送價壹圓八拾錢
同 先生著	漢文 附助字略解	(菊判入三百六十本)	送價壹圓八拾錢
同 先生著	日本古典研究	(菊判入二百八十本)	送價壹圓五拾錢
同 先生著	哲學新綱	(菊判入五百本)	送價壹圓
同 先生著	西洋哲學史	(菊判入三百五十本)	送價壹圓
同 先生著	教育的心理學	(菊判入四百五十本)	送價壹圓
同 先生著	倫理學概論	(菊判入百九十本)	送價壹圓六拾錢
同 先生著	新講和歌史	(菊判入七〇〇本)	送價壹圓
同 先生著	現代倫理學の理念	(菊判入三六〇本)	送價壹圓五拾錢
同 先生著	圖畫の學習	(菊判入三百餘本)	送價壹圓八拾錢
同 先生著	音樂の學習	(菊判入三百餘本)	送價壹圓八拾錢
同 先生著	體操科教練の參考	(菊判入三百本)	送價壹圓八拾錢

圖 書 目 錄 申 越 次 第 送 呈



